

平成30年度

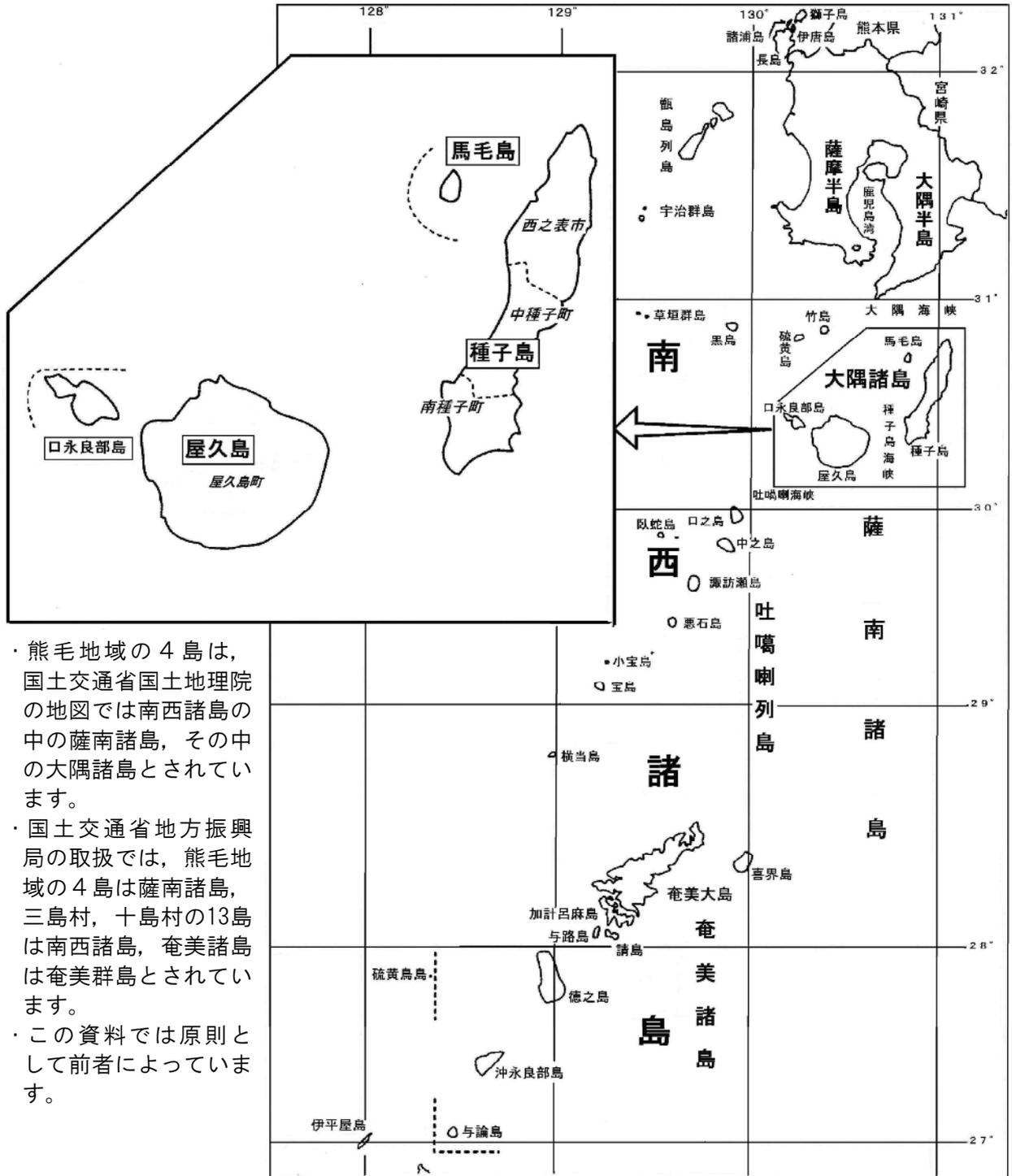
熊毛地域農業の動向



令和2年3月

熊毛地域農政企画推進会議

熊毛地域位置図



- ・熊毛地域の4島は、国土交通省国土地理院の地図では南西諸島の中の薩南諸島、その中の大隅諸島とされています。
- ・国土交通省地方振興局の取扱では、熊毛地域の4島は薩南諸島、三島村、十島村の13島は南西諸島、奄美諸島は奄美群島とされています。
- ・この資料では原則として前者によっています。

は じ め に

最近の農業を取り巻く環境は、高齢化による担い手の減少に伴う耕作放棄地の増加、TPP11や日EU・EPA協定、日米間貿易協定の発効による関税削減に伴い、価格低下による生産額の減少が見込まれるなど厳しい状況におかれており、国は、農政改革を着実に実行するため、担い手への農地集積や集約化等による構造改革の推進、水田フル活用と経営所得安定対策の着実な実施、強い農林水産業の基盤づくりとスマート農業の実現などに取り組んでいるところです。

熊毛地域においても、県の「かごしま食と農の県民条例に基づく基本指針」に基づき、基幹作物のさとうきびとさつまいもの生産振興、安納いもの品質向上、かごしまブランド品目である種子島のレザーリーフファンや屋久島のたんかんを中心に地域特性を生かした品目の産地育成、畜産部門の生産牛や酪農等の振興、これらを支える農業生産基盤整備、食育や地域の農産物を活用した6次化の推進などの施策を、関係機関・団体と一体となって積極的に展開しているところです。

ここに「熊毛地域農業の動向」を取りまとめましたので、今後の地域農業振興に活用していただければ幸いです。

なお、生産実績数値の取りまとめに当たっては、各市町からの報告データを活用させていただいたことを感謝申し上げます。

令和2年3月

熊毛地域農政企画推進会議

目 次

第1章 熊毛地域の概況

第1節 地域の立地条件

1. 位置	1
2. 地勢	1
3. 気象	1
4. 人口	3
5. 産業構造	3

第2章 農業の動向

第1節 地域農業の位置

1. 地域農業の現状	6
2. 農家の動向	7

第2節 平成30年度の農業生産

1. 部門別農業生産実績	9
2. 市町別農業生産実績	11

第3節 作物別生産の概況

1. 園芸の振興	15
2. 地域特産物	23
3. 畜産	28

第4節 主要施策の成果

1. 創意と意欲に満ちた担い手づくり	36
2. たくましい農業の基盤づくり	39
3. 鳥獣害対策について	44
4. 活力にみちたむらづくり	45

第1章 熊毛地域の概況

第1節 地域の立地条件

1. 位 置

熊毛地域は、鹿児島市の南方約115kmの海上に位置する種子島（馬毛島を含む）と、種子島の南西約30kmの海上に位置する屋久島（口永良部島を含む）の両島からなり、種子島1市2町（西之表市、中種子町、南種子町）、屋久島1町（屋久島町）の1市3町で構成されている。

総面積は99,368haで、県土の10.8%を占めている。

2. 地 勢

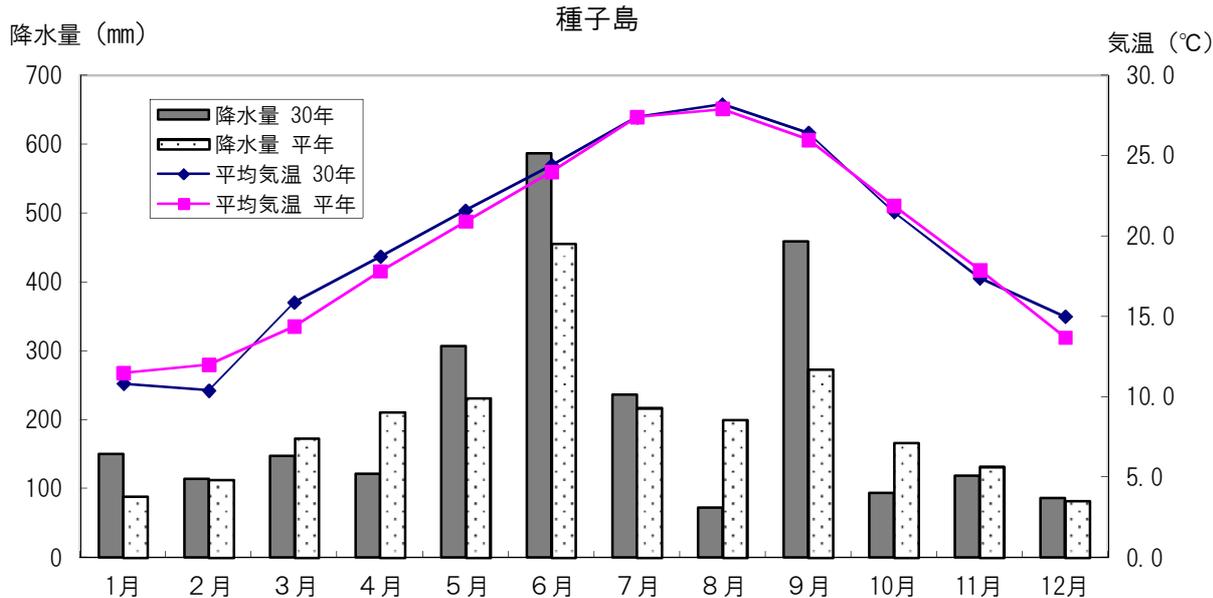
種子島は、丘陵性の山地が連なる比較的平坦な島であり、中央部から南部にかけては、段丘台地が発達している。土壌は、低腐植性黒色火山灰土が大部分で、深耕・有機質増肥等対策の必要な土壌が多い。

一方、屋久島は、山岳地帯が大部分を占め、九州の最高峰宮之浦岳をはじめ、千数百メートル級の高峰が連なっており、山裾は、西部海岸では急斜面をなして海に臨み、東部海岸は海岸から2kmの幅で海岸段丘が取り巻いている。土壌は、表土が浅くやせており、流亡が激しく有機質の増肥・流亡防止対策の必要な土壌が多い。

3. 気 象

種子島は、平年値で見ると、年平均気温19.6℃、年間降水量2,346mm、年間日照時間1,804時間の亜熱帯性気候であり、沿岸部は一年中ほとんど霜の降らない地帯が帯状に取り巻いている。

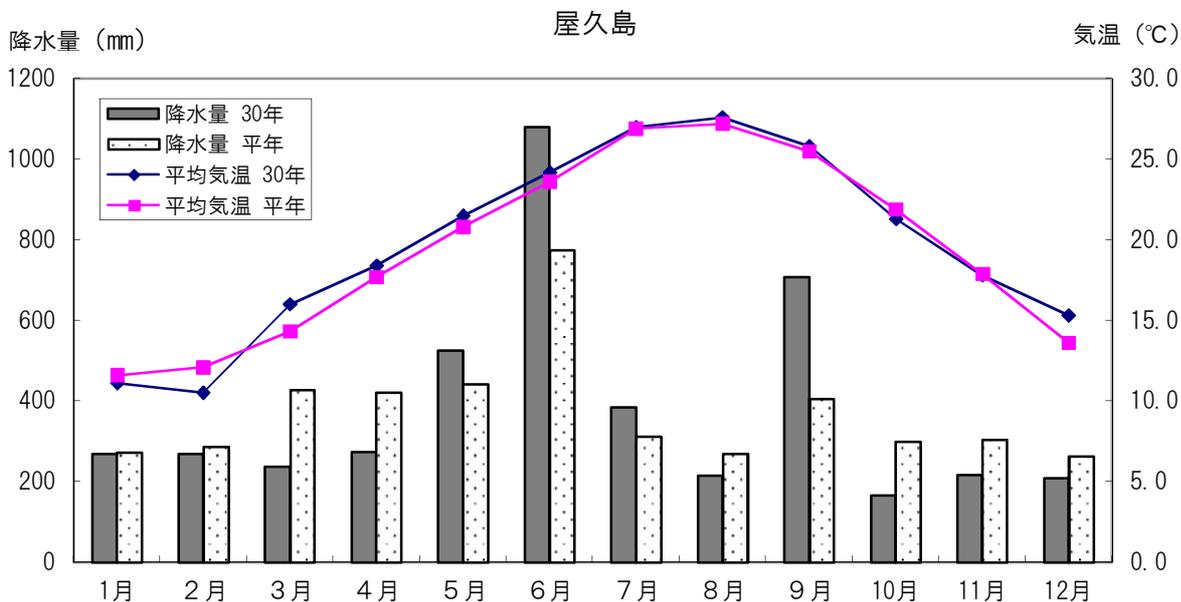
屋久島は、沿岸部では気温が高く、亜熱帯的海洋性気候であるが、内陸部では気温も低く、山間部では積雪をみるなど、きわめて変化に富んでいる。平年値で見ると、年平均気温19.4℃、年間降水量4,479mm、年間日照時間1,531時間となっている。



種子島 単位: mm, °C

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
降水量	30年	150	114	148	122	307	587	237	73	459	94	119	87
	平年	89	113	174	211	232	455	218	200	273	167	132	82
平均気温	30年	10.8	10.4	15.9	18.7	21.6	24.4	27.4	28.2	26.4	21.5	17.4	15.0
	平年	11.5	12.0	14.4	17.8	20.9	24.0	27.4	27.9	26.0	21.9	17.9	13.7

資料: 気象庁データ (地点: 種子島)



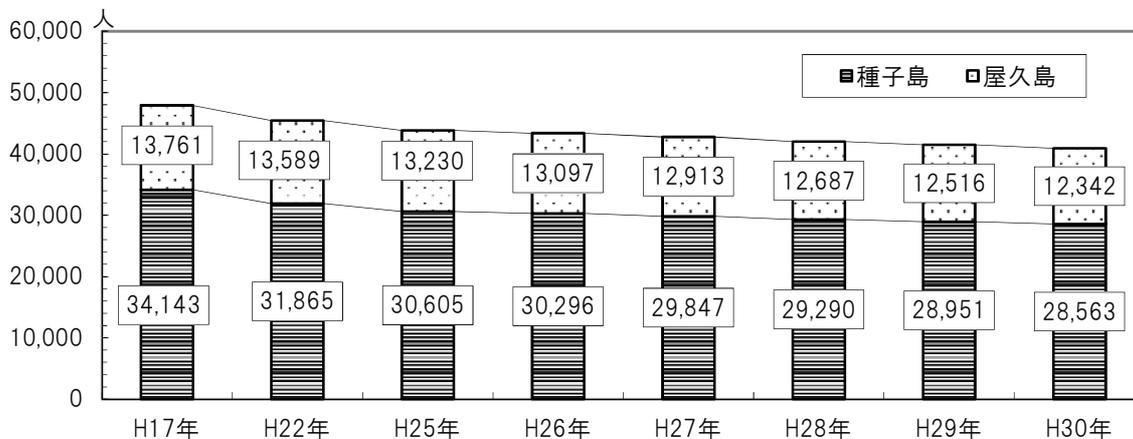
屋久島 単位: mm, °C

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
降水量	30年	269	268	237	274	525	1,080	384	215	707	165	216	208
	平年	273	287	428	422	441	774	312	269	406	300	304	263
平均気温	30年	11.1	10.5	16.0	18.4	21.5	24.2	27.0	27.6	25.8	21.3	17.8	15.3
	平年	11.6	12.1	14.3	17.7	20.8	23.6	26.9	27.2	25.5	21.9	17.9	13.6

資料: 気象庁データ (地点: 屋久島)

4. 人口

熊毛地域の人口は、昭和45年以降減少の一途をたどっており、平成30年は40,905人で、これは県全体の約2.5%にあたる。



単位：人

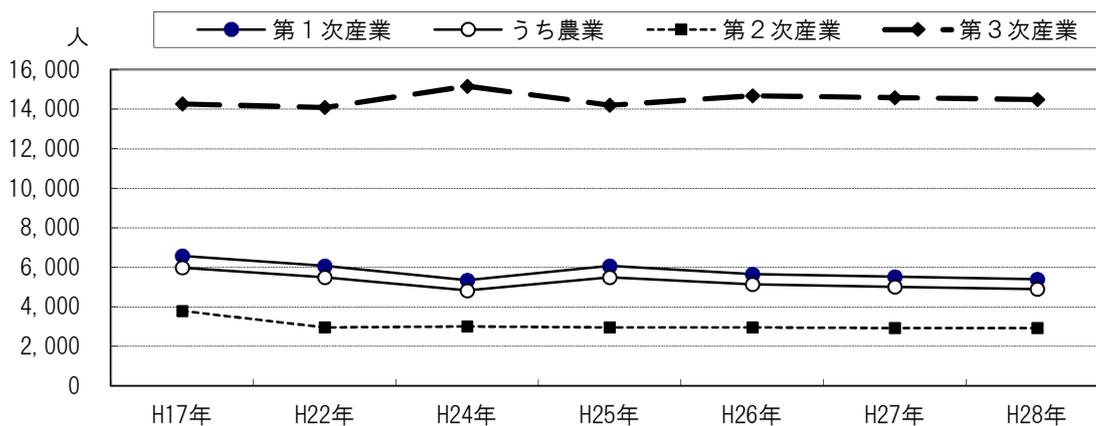
項目	H17年	H22年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
種子島	34,143	31,865	30,605	30,296	29,847	29,290	28,951	28,563
屋久島	13,761	13,589	13,230	13,097	12,913	12,687	12,516	12,342
合計	47,904	45,454	43,835	43,393	42,760	41,977	41,467	40,905

資料：国勢調査，県人口移動調査（県統計課調べ）

5. 産業構造

(1) 就業人口

平成28年の就業人口は22,804人となっており、産業別構成比は、第1次産業が23.6%，第2次産業が12.8%，第3次産業が63.5%である。また、農業就業者は4,890人で就業人口の21.4%を占めており、第1次産業就業者の約9割を占めている。



単位：人，%

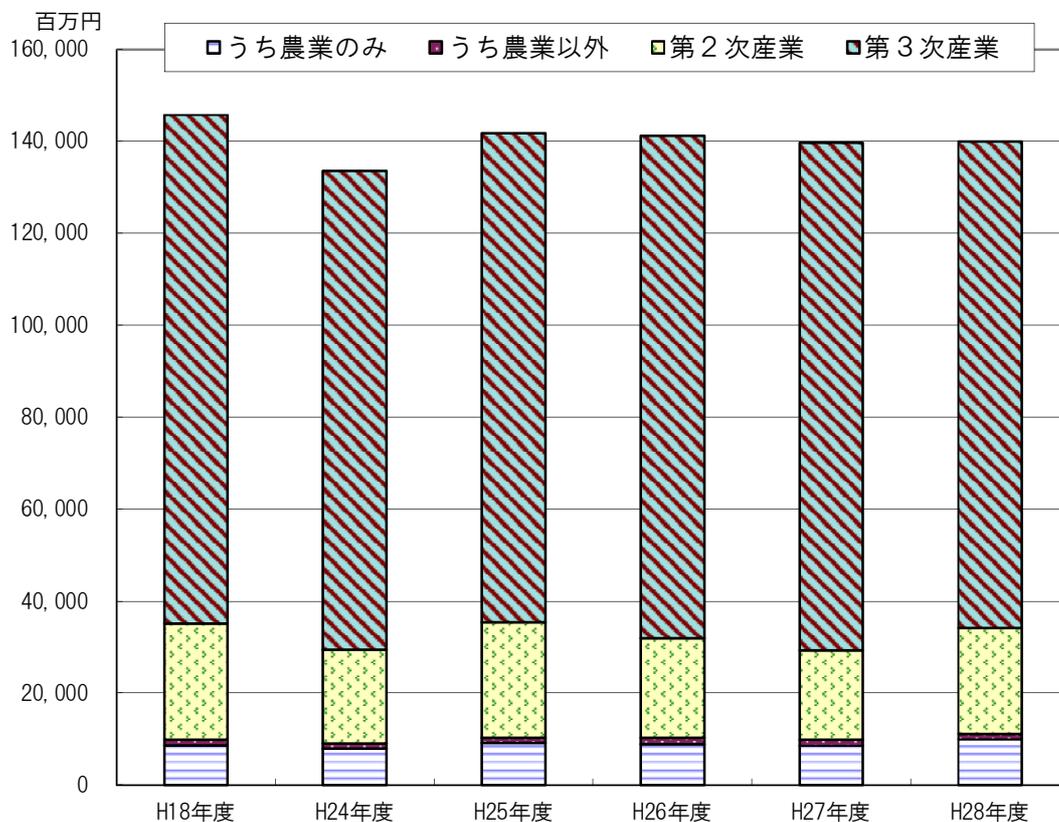
項目	H17年	H22年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	割合
第1次産業	6,577	6,066	5,349	6,066	5,653	5,520	5,390	23.6
うち農業	5,976	5,494	4,820	5,494	5,130	5,007	4,890	21.4
第2次産業	3,794	2,966	3,005	2,966	2,955	2,937	2,926	12.8
第3次産業	14,263	14,086	15,165	14,198	14,672	14,578	14,488	63.5
合計	24,634	23,118	23,519	23,230	23,280	23,035	22,804	100.0

資料：国勢調査（県統計課調べ）

(2) 管内総生産

平成28年度の管内総生産額（名目）は、1,405億95百万円となっている。

構成比は、第1次産業が7.9%（うち農業7.0%），第2次産業は16.4%，第3次産業は75.2%となっている。



単位：百万円，%

項目	H18年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	割合
第1次産業	9,847	9,088	10,348	10,306	9,757	11,090	7.9
うち農業のみ	8,619	7,859	9,164	8,931	8,561	9,903	7.0
うち農業以外	1,228	1,229	1,184	1,375	1,196	1,187	0.8
第2次産業	25,190	20,369	25,019	21,562	19,571	23,064	16.4
第3次産業	110,740	104,121	106,403	109,373	110,396	105,774	75.2
小計	145,777	133,578	141,770	141,240	139,724	139,928	99.5
税・関税等	148,433	714	918	1,310	991	666	0.5
総生産額計	142,062	134,292	142,688	142,550	140,715	140,595	100.0

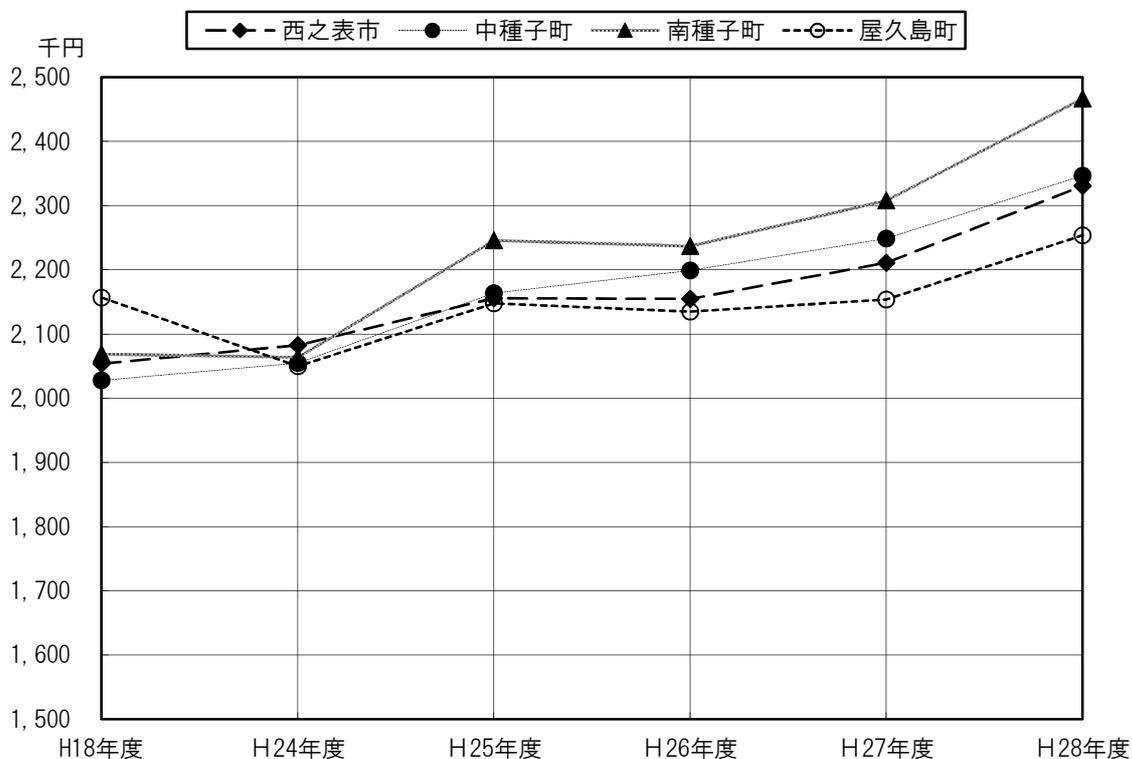
資料：市町村民所得推計報告書

注1) 「税・関税等」とは、「輸入品に課される税・関税」から「総資本形成に係る消費税」を差し引いたものであり、全産業の合計に加えるものである。

注2) 四捨五入の関係で総数と内訳合計が一致しない。

(3) 1人当たり所得

平成28年度の管内平均の市町民1人当たり所得は、2,350千円となっている。
 県民所得との格差は、この10年来91～97%で推移している。



単位：千円

項目	H18年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
西之表市	2,054	2,083	2,156	2,155	2,211	2,331
中種子町	2,028	2,055	2,164	2,199	2,249	2,347
南種子町	2,069	2,064	2,246	2,237	2,308	2,467
屋久島町	2,157	2,050	2,148	2,135	2,154	2,254
熊毛地域	2,081	2,065	2,167	2,168	2,214	2,350
県	2,264	2,202	2,299	2,312	2,384	2,414

資料：市町村民所得推計報告書

第2章 農業の動向

第1節 地域農業の位置

1. 地域農業の現状

種子島と屋久島は、それぞれ農業条件を異にしている。

種子島は比較的平坦で畑地が多く、広い耕地面積、温暖な気候、基盤整備の進んだ畑地等、地域の特性を活かし、さとうきび、さつまいも、肉用牛を主要品目として、ばれいしょ等の野菜、米や茶の早出し農産物に加え、酪農、レザーリーフファン等の産地化も進んでいる。

屋久島は、山岳地帯が多く、耕地は海岸線沿いに分散している中で、温暖な気候を活かし、ぼんかん、たんかん等の果樹や茶の産地化が進んでいる。また、口永良部島では放牧による肉用牛の低コスト生産が図られている。

区分(単位)	地域計	対県比	種子島	種子島			屋久島	備考
				西之表	中種子	南種子		
総農家数(戸)	3,935 (100.0)	6.2%	3,270 (100.0)	1,310 (100.0)	1,177 (100.0)	783 (100.0)	665 (100.0)	「2015年農 林業センサ ス」
販売農家数(戸)	3,103 (78.9)	8.3%	2,722 (83.2)	1,068 (81.5)	1,017 (86.4)	637 (81.4)	381 (57.3)	
主業農家数(戸)	1,062 (34.2)	9.3%	948 (29.0)	401 (30.6)	324 (27.5)	223 (28.5)	114 (17.1)	
専業農家(戸)	1,854 (47.1)	8.6%	1,634 (50.0)	685 (52.3)	587 (49.9)	362 (46.2)	220 (33.1)	
兼業農家(戸)	1,249 (31.7)	7.8%	1,088 (33.3)	383 (29.2)	430 (36.5)	275 (35.1)	161 (24.2)	
自給的農家(戸)	832 (21.1)	3.2%	548 (16.8)	242 (18.5)	160 (13.6)	146 (18.6)	284 (42.7)	
農業従事者数(人) 〔自営農業に従事した世帯員数〕	6,329	8.0%	5,552	2,210	2,039	1,303	777	
農業就業人口(人) 〔自営農業に主として従事した世帯員数〕	4,661	8.1%	4,091	1,702	1,489	900	570	
基幹的農業従事者(人) 〔農業就業人口のうち、ふだん仕事として自営農業に従事した世帯員数〕	4,371	8.3%	3,875	1,631	1,396	848	496	
耕地面積(ha)	9,675	8.3%	8,700	3,150	3,380	2,170	975	
田	1,978	5.3%	1,830	581	527	722	148	
畑	7,697	9.6%	6,870	2,570	2,850	1,450	827	

(注) 1 ラウンドの関係で、計が一致しない場合がある。

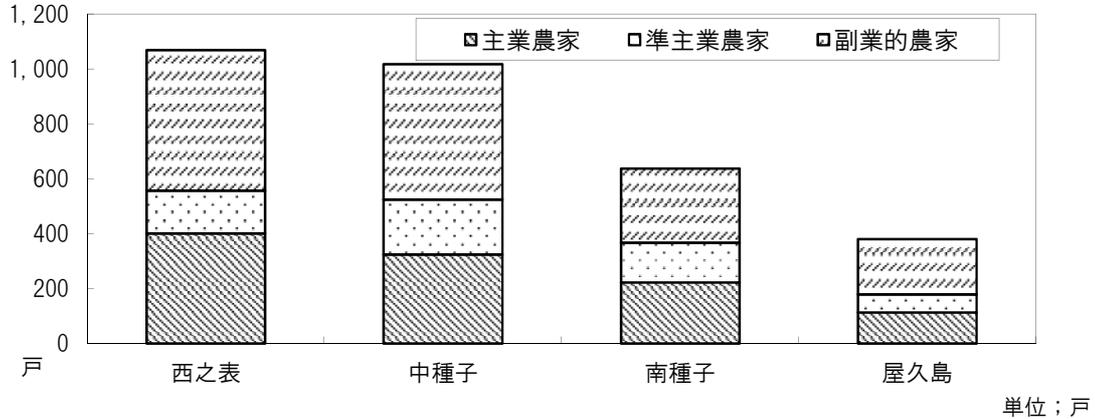
2 農家数の下のカッコ書きは、総農家数に占める割合を示す。

2. 農家の動向

(1) 販売農家数

平成27年の販売農家数は3,103戸で、平成22年と比較すると568戸減少しているが、減少率は15.5%で県平均減少率の18.1%よりは少ない。

区分別では、主業農家が34.2%で、平成22年に比べ割合が増加している。

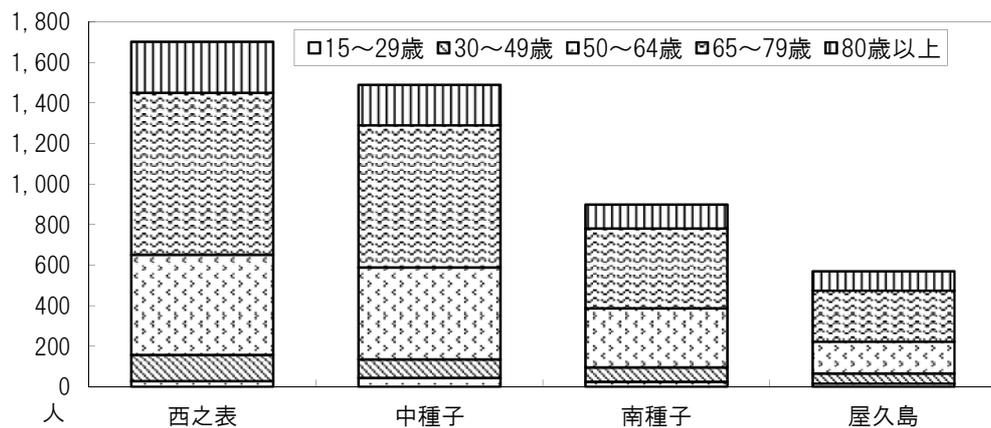


年度	区分	種子島				屋久島	熊毛地域	割合 %	県全体
		種子島	西之表	中種子	南種子				
H27	主業農家	948	401	324	223	114	1,062	34.2	11,383
	準主業農家	502	156	201	145	66	568	18.3	5,454
	副業的農家	1,272	511	492	269	201	1,473	47.5	20,699
	計	2,722	1,068	1,017	637	381	3,103	100.0	37,536
H22	主業農家	1,065	456	375	234	122	1,187	32.3	13,180
	準主業農家	697	250	247	200	107	804	21.9	7,536
	副業的農家	1,450	568	568	314	230	1,680	45.8	25,139
	計	3,212	1,274	1,190	748	459	3,671	100.0	45,855

出典：2010、2015年農林業センサス

(2) 年齢別農業就業人口

平成27年の農業就業人口は4,661人で、65歳以上が6割以上を占める。



単位：人

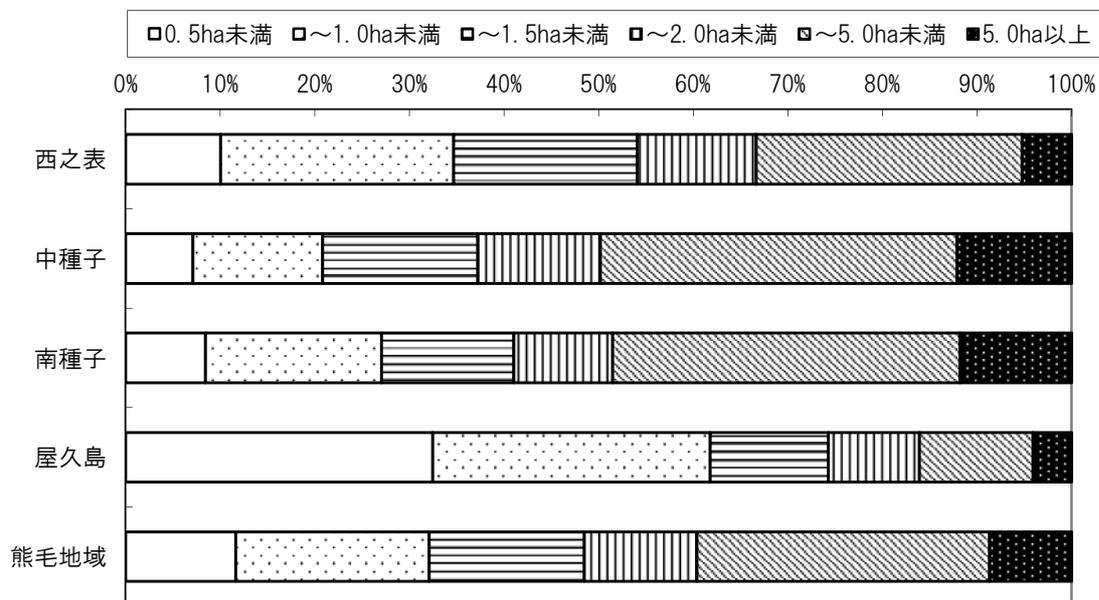
年齢	種子島				屋久島	熊毛地域	割合 %	県全体
	種子島	西之表	中種子	南種子				
15～29歳	95	27	44	24	16	111	2.4	1,479
30～49歳	291	129	91	71	50	341	7.3	5,466
50～64歳	1,241	496	454	291	157	1,398	30.0	15,189
65～79歳	1,893	798	701	394	252	2,145	46.0	26,533
80歳以上	571	252	199	120	95	666	14.3	9,214
計	4,091	1,702	1,489	900	570	4,661	100.0	57,881

出典：2015年農林業センサス

(3) 経営規模別経営体数

平成27年の管内の1ha以上の経営規模農家戸数は67.9%を占めている。

また、種子島では5ha以上の農家が262戸（県全体の8.0%）と、経営規模の拡大が進んでいる。



単位：戸

経営面積	種子島				屋久島	熊毛地域	県全体
	種子島	西之表	中種子	南種子			
0.5ha未満	239	109	75	55	135	374	8,584
~1.0ha未満	534	268	145	121	122	656	10,875
~1.5ha未満	475	211	173	91	52	527	5,873
~2.0ha未満	342	137	137	68	40	382	3,416
~5.0ha未満	943	306	398	239	50	993	7,195
5.0ha以上	262	57	128	77	17	279	3,279
計	2,795	1,088	1,056	651	416	3,211	39,222

出典：2015年農林業センサス

第2節 平成30年度の農業生産

平成30年度の農業生産額は、156億2千万円（前年対比99.5%）であった。
 耕種部門は普通作物は0.8%増、工芸作物は1.1%減、野菜は5.8%増、花き・花木は1.6%減、果樹は10.9%増で、畜産部門は3.8%減となった。
 この結果、生産額構成比は、耕種部門59.0%、畜産部門41.0%となった。

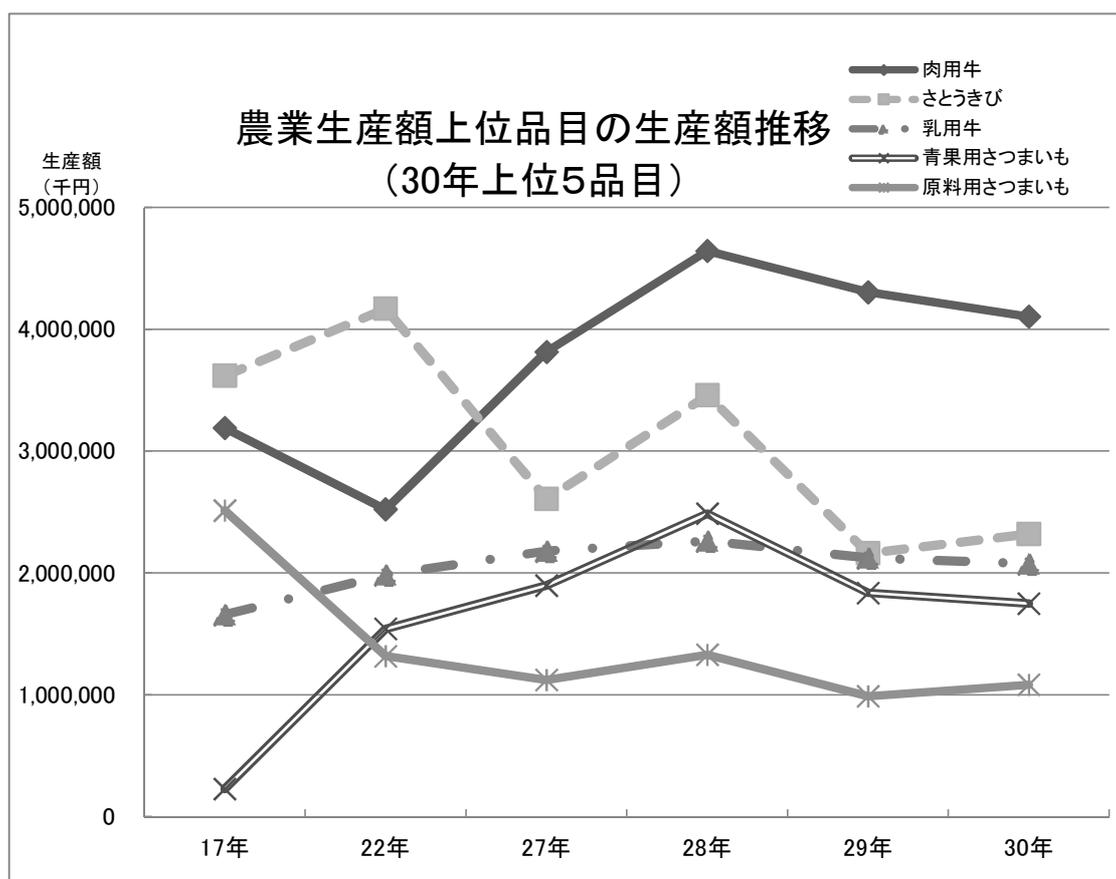
1. 部門別農業生産実績

(1) 総括

	作付面積 ha	10a当たり 収量 kg・本	生産量 t, 千本	農業生産額 千円	生産額構成比	
					構成比 %	前年対比 %
普通作物	1,992	—	29,298	1,685,906	10.8	100.8
米（水稻）	806	414	3,335	584,859	3.7	86.5
さつまいも	1,170	2,215	25,929	1,083,952	6.9	109.8
落花生・そば	16	—	34	17,095	0.1	191.1
工芸作物	2,507	—	116,298	3,636,521	23.3	98.9
さとうきび	2,187	5,256	114,954	2,321,180	14.9	107.3
葉たばこ	55	266	145	304,522	2.0	110.4
茶	228	346	789	938,567	6.0	80.5
ガジュツ・ウコン	36	—	410	72,252	0.5	99.4
野菜	902	—	17,242	2,905,597	18.6	105.8
青果用さつまいも	599	1,816	10,876	1,749,390	11.2	95.2
ばれいしょ	160	2,390	3,825	479,254	3.1	143.9
スナップえんどう	30	1,466	435	324,121	2.1	100.0
その他	113	—	2,106	352,832	2.3	139.7
花き・花木	51	—	—	409,963	2.6	98.4
レザーリーフファン	15	33,135	5,063	135,793	0.9	97.6
その他	36	—	—	274,170	1.8	98.9
果樹	408	—	1,720	570,795	3.7	111.0
たんかん	252	459	1,158	361,827	2.3	116.5
ぼんかん	140	368	515	160,983	1.0	113.6
その他	16	—	47	47,985	0.3	77.4
耕種計	5,859	—	164,558	9,208,782	59.0	102.0
	ha			千円	%	%
肉用牛	—	—	5,960頭	4,103,681	26.3	95.3
乳用牛	—	—	16,494t	2,077,573	13.3	97.7
豚	—	—	6,492頭	212,677	1.4	105.7
その他	—	—	—	12,780	0.1	49.0
飼料作物	1,700	—	—	—	—	—
畜産計	1,700	—	—	6,406,711	41.0	96.2
その他面積	210					
合計	7,769	—	—	15,615,493	100.0	99.5

（注1）ラウンドの関係でそれぞれの計が一致しないことがある。

（注2）市町村報告による熊毛支庁集計。鹿児島県生産農業所得合計とは一致しないことがある。



主要品目の農業生産額推移

(単位：千円)

区分	17年	22年	27年	28年	29年	30年
肉用牛	3,190,000	2,522,067	3,815,832	4,643,110	4,304,734	4,103,681
さとうきび	3,618,700	4,170,056	2,609,427	3,457,926	2,163,250	2,321,180
乳用牛	1,660,000	1,986,738	2,182,073	2,264,257	2,126,616	2,077,573
青果用さつまいも	228,492	1,540,394	1,896,876	2,486,473	1,837,171	1,749,390
原料用さつまいも	2,513,400	1,318,140	1,121,922	1,329,300	987,276	1,083,952
茶	716,000	506,163	504,952	731,512	1,165,341	938,567
水稻	1,210,000	817,574	628,475	701,688	676,452	584,859
ぼんかん・たんかん	1,076,811	562,994	450,700	603,807	452,308	522,810
ばれいしょ	1,103,847	595,544	314,148	543,582	333,151	479,254
その他	928,646	2,072,895	1,617,586	1,815,930	1,639,849	1,754,227
合計	16,245,896	16,092,565	15,141,991	18,577,585	15,686,148	15,615,493

2. 市町別農業生産実績

(1) 耕種部門 (H30)

作物名	西之表市					中種子町				
	作付面積 (ha)	10a当り収 量kg・本	生産量 (t・千本)	生産額 (千円)	農家戸数 (戸)	作付面積 (ha)	10a当り収 量kg・本	生産量 (t・千本)	生産額 (千円)	農家戸数 (戸)
1 普通作目	553		7,805	540,744		796		13,768	710,004	
(1)米	214	409	875	153,036	665	269	423	1,136	228,904	652
(2)さつまいも	324	2,132	6,896	370,613	441	527	2,397	12,632	481,100	547
(3)落花生	8	365	29	15,406	19					
(4)そば・その他	8	65	5	1,689	3					
2 工芸作目	695		29,787	1,205,937		1,224		66,431	1,559,020	
(1)さとうきび	572	5,100	29,174	592,023	545	1,170	5,664	66,272	1,336,402	807
(2)葉たばこ	15	259	39	80,066	11	30	266	79	166,119	15
(3)ガジュツ	10	1,301	136	23,059	55	2	1,318	25	4,168	11
(4)茶	98	448	439	510,789	37	22	250	55	52,331	3
(5)ウコン										
3. 野菜	515		11,101	1,797,715	740	229		3,776	659,347	
(1)だいこん	0	6,111	5	232		10	9,916	942	18,782	7
(2)はくさい	0	6,267	2	57						
(3)キャベツ	0	4,656	13	593						
(4)レタス	3	1,800	54	6,072	3					
(5)ブロッコリー	5	815	39	13,725	43	47	764	358	145,300	97
(6)にがうり	4	2,770	110	20,937	43					
(7)かぼちゃ	4	1,342	55	15,488	25	2	380	8	1,900	8
(8)実えんどう	0	533	3	2,074	13					
(9)きぬさやえんどう	1	918	8	10,237	13					
(10)スナップえんどう	19	1,449	268	195,019	111	5	2,012	95	72,300	33
(11)そらまめ	1	1,586	22	13,169	12					
(12)ばれいしょ	97	2,691	2,606	325,448	175	25	1,989	501	47,147	68
(13)青果用さつまいも	365	2,092	7,636	1,134,774	294	140	1,338	1,869	370,709	127
(14)やまいも	4	500	20	10,000						
(15)たまねぎ	11	2,064	226	33,554	8					
(16)採種用野菜・その他	1	2,482	35	16,336		1	780	4	3,209	2
4. 花き・花木	20			171,415		6			52,710	
(1)スプレーギク	1	21,860	141	6,211	3	0	7,142	25	963	2
(2)レザーリーフファン	1	25,333	304	7,789	11	4	37,020	1,640	45,580	42
(3)ドラセナ										
(4)フェニックス・ロベロニー	2	19,300	386	6,678	3					
(5)輪ギク・その他	1		428	11,112	3					
(6)球根 フリージア	15	33,430	4,981	136,953	3	1	1,350	1,256	6,167	15
(7)球根 その他	1	20,333	122	2,672	1					
5. 果樹	2		9	7,177		15		91	31,709	
(1)たんかん	0		0		1	12	609	75	14,407	22
(2)ぼんかん	1	150	1	150	2	2	573	9	1,902	8
(3)パッションフルーツ	1	1,031	7	3,638	12	0	30	1	500	4
(4)マンゴー	0	222	1	2,182	1	1	600	7	14,900	12
(5)びわ・その他	0	333	1	1,207	3	0	-	-	-	2
耕種部門計	1,786			3,722,988		2,269			3,012,790	

※青果用さつまいもには、加工用食品用、飼料用、種子用、自家食用を含む。

作物名	南種子町					屋久島町				
	作付面積 (h a)	10a当り収 量kg・本	生産量 (t・千本)	生産額 (千円)	農家戸数 (戸)	作付面積 (h a)	10a当り収 量kg・本	生産量 (t・千本)	生産額 (千円)	農家戸数 (戸)
1 普通作目	606		7,362	395,894		37		364	39,264	
(1)米	303	409	1,242	183,360	397	20	388	82	19,559	42
(2)さつまいも	303	2,020	6,120	212,534	296	17	1,655	282	19,705	185
(3)落花生										
(4)そば・その他										
2 工芸作目	490		19,759	518,497		96		320	353,067	
(1)さとうきび	445	4,384	19,508	392,755	783					
(2)葉たばこ	10	273	27	58,337	5					
(3)ガジュツ	16	1,190	192	32,553	65	5	685	37	6,598	20
(4)茶	20	166	32	34,852	8	88	298	262	340,595	17
(5)ウコン						2	940	21	5,874	16
3. 野菜	121		1,699	339,849		37		666	108,686	
(1)だいこん	1	5,000	25	500	5	2	1,250	25	1,100	120
(2)はくさい						1	1,385	18	540	120
(3)キャベツ						1	2,692	35	1,470	120
(4)レタス	7	286	20	2,000	1					
(5)ブロッコリー										
(6)にがうり										
(7)かぼちゃ	2	602	15	4,227	10					
(8)実えんどう						2	821	15	9,344	14
(9)きぬさやえんどう	1	878	7	10,483	9					
(10)スナップえんどう	6	1,115	72	56,802	29					
(11)そらまめ	1	1,820	9	5,635	3	0	350	0	127	1
(12)ばれいしょ	15	1,767	230	21,000	41	23	2,199	487	85,659	18
(13)青果用さつまいも	89	1,527	1,321	239,202	113	5	1,000	50	4,705	180
(14)やまいも						2	1,606	30	5,322	12
(15)たまねぎ										
(16)採種用野菜・その他						1	762	6	419	122
4. 花き・花木	22			163,438		4			22,400	
(1)スプレーギク										
(2)レザリーフファン	10	32,321	3,119	82,424	63					
(3)ドラセナ	3	3,815	103	6,798	48	2	4,000	80	10,400	6
(4)フェニックス・ロベレニー	7	31,086	2,176	63,861	97					
(5)輪ギク・その他						2		80	12,000	10
(6)球根 フリージア	1	92,182	1,014	5,049	8					
(7)球根 その他	1	25,000	250	5,306	4					
5. 果樹	34		174	48,175		357		1,446	483,734	
(1)たんかん	10	642	61	14,339	38	230	444	1,022	333,081	529
(2)ぼんかん	23	463	107	28,704	39	115	347	399	130,227	619
(3)パッションフルーツ	1	980	5	2,570	7	8	265	21	18,204	105
(4)マンゴー	1	241	2	2,562	3	1	175	2	314	5
(5)びわ・その他						3		2	1,908	40
耕種部門計	1,273			1,465,853		531			1,007,151	

※青果用さつまいもには、加工用食品用、飼料用、種子用、自家食用を含む。

作物名	種子島計					熊毛地区計				
	作付面積 (h a)	10a当り収 量kg・本	生産量 (t・千本)	生産額 (千円)	農家戸数 (戸)	作付面積 (h a)	10a当り収 量kg・本	生産量 (t・千本)	生産額 (千円)	農家戸数 (戸)
1 普通作目	1,955		28,934	1,646,642		1,992		29,298	1,685,906	
(1)米	786	414	3,253	565,300	1,714	806	414	3,335	584,859	1,756
(2)さつまいも	1,153	2,224	25,647	1,064,247	1,284	1,170	2,215	25,929	1,083,952	1,469
(3)落花生	8	365	29	15,406	19	8	365	29	15,406	19
(4)そば・その他	8		5	1,689	3	8		5	1,689	3
2 工芸作目	2,410	4,813	115,978	3,283,454		2,505	4,642	116,298	3,636,521	
(1)さとうきび	2,187	5,256	114,954	2,321,180	2,135	2,187	5,256	114,954	2,321,180	2,135
(2)葉たばこ	55	266	145	304,522	31	55	266	145	304,522	31
(3)ガジュツ	28	1,241	352	59,780	131	34	1,152	389	66,378	151
(4)茶	140	377	526	597,972	48	228	347	789	938,567	65
(5)ウコン						2	940	21	5,874	16
3. 野菜	865		16,576	2,796,911		902		17,242	2,905,597	
(1)だいこん	10	9,638	972	19,514	12	12	8,250	997	20,614	132
(2)はくさい	0		2	57		1	1,496	20	597	120
(3)キャベツ	0		13	593		2	3,032	48	2,063	120
(4)レタス	10	737	74	8,072	4	10	737	74	8,072	4
(5)ブロッコリー	52	769	397	159,025	140	52	769	397	159,025	140
(6)にがうり	4	2,770	110	20,937	43	4	2,770	110	20,937	43
(7)かぼちゃ	8	965	77	21,615	43	8	965	77	21,615	43
(8)実えんどう	0	1,650	3	2,074	13	2	915	18	11,418	27
(9)きぬさやえんどう	2	906	14	20,720	22	2	906	14	20,720	22
(10)スナップえんどう	30	1,466	435	324,121	173	30	1,466	435	324,121	173
(11)そらまめ	2	1,647	31	18,804	15	2	1,583	32	18,931	16
(12)ばれいしょ	137	2,436	3,338	393,595	284	160	2,390	3,825	479,254	302
(13)青果用さつまいも	594	1,823	10,826	1,744,685	534	599	1,816	10,876	1,749,390	714
(14)やまいも	4		20	10,000		6	847	50	15,322	12
(15)たまねぎ	11	2,064	226	33,554	8	11	2,064	226	33,554	8
(16)採種用野菜・その他	2		38	19,545	2	3		45	19,964	124
4. 花き・花木	48			387,563		51			409,963	
(1)スプレーギク	1	16,600	166	7,174	5	1	16,600	166	7,174	5
(2)レザーリーフファン	15	33,135	5,063	135,793	116	15	33,135	5,063	135,793	116
(3)ドラセナ	3	3,815	103	6,798	48	5	3,894	183	17,198	54
(4)フェニックス・ロベロニー	9	28,467	2,562	70,539	100	9	28,467	2,562	70,539	100
(5)輪ギク・その他	1		428	11,112	3	3		508	23,112	13
(6)球根 フリージア	17	42,703	7,251	148,169	26	17	42,703	7,251	148,169	26
(7)球根 その他	2		372	7,978	5	2		372	7,978	5
5. 果樹	51	537	274	87,061		408	421	1,720	570,795	
(1)たんかん	22	615	136	28,746	61	252	459	1,158	361,827	590
(2)ぼんかん	25	463	116	30,756	49	140	368	515	160,983	668
(3)パッションフルーツ	1	904	12	6,708	23	9	358	33	24,912	128
(4)マンゴー	2	429	9	19,644	16	3	333	11	19,958	21
(5)びわ・その他	0		1	1,207	5	4		3	3,115	45
耕種部門計	5,328			8,201,631		5,859			9,208,782	

※青果用さつまいもには、加工用食品用、飼料用、種子用、自家食用を含む。

(2) 畜産部門 (H30)

区 分			西之表市	中種子町	南種子町	屋久島町	熊毛計	備 考
肉	子牛	生産頭数 (頭)	1,835	2,082	1,288	355	5,560	平均単価 (千円/頭, 羽, t)
		生産額 (千円)	1,316,172	1,457,400	890,851	259,087	3,923,510	
用肥育牛	肉牛	生産頭数 (頭)	79	5		1	85	1,117.8
		生産額 (千円)	91,115	2,617		1,283	95,015	
牛老廃牛	出 荷	生産頭数 (頭)	122	130	32	31	315	270.3
		生産額 (千円)	39,489	28,600	7,068	9,999	85,156	
生産額計 (千円)			1,446,776	1,488,617	897,919	270,369	4,103,681	
乳	子牛	牝 生産頭数 (頭)	14	227	75		316	222.8
		牝 生産額 (千円)	2,549	44,590	23,254		70,393	
用牛	牝	生産頭数 (頭)	40	202	76		318	218.2
		生産額 (千円)	5,834	40,285	23,254		69,373	
小 計 (千円)			8,383	84,875	46,508		139,766	
用育成牛	生 産	生産頭数 (頭)	17	6			23	766.3
		生産額 (千円)	13,126	4,500			17,626	
牛生乳	生 産	生産量 (t)	9,446	4,905	2,143		16,494	114.4
		生産額 (千円)	1,087,198	568,044	232,047		1,887,289	
牛老廃牛	出 荷	生産頭数 (頭)	70	32	61		163	201.8
		生産額 (千円)	12,852	4,540	15,500		32,892	
生産額計 (千円)			1,121,559	661,959	294,055		2,077,573	
豚	子豚	生産頭数 (頭)	20			3,939	3,959	21.8
		生産額 (千円)	600			85,890	86,490	
肉豚	生 産	生産頭数 (頭)	10	1,587	613	323	2,533	49.8
		生産額 (千円)	600	82,288	30,129	13,170	126,187	
生産額計 (千円)			1,200	82,288	30,129	99,060	212,677	
アロイ-	出 荷	羽数 (羽)			2,600		2,600	3.0
		生産額 (千円)			7,800		7,800	
採卵	鶏卵	生産量 (t)	6		1		7	481.8
		生産額 (千円)	1,680		1,500		3,180	
鶏	廃鶏	出 荷 羽数 (羽)	1,800				1,800	1.0
		生産額 (千円)	1,800				1,800	
生産額計 (千円)			3,480		1,500		4,980	
生産額合計 (千円)			2,573,015	2,232,864	1,231,403	369,429	6,406,711	

(3) 市町別作付面積, 生産額

区分	西之表市		中種子町		南種子町		屋久島町		熊毛計	
	作付面積 (ha)	生産額 (千円)								
耕種部門計	1,786	3,722,988	2,269	3,012,790	1,273	1,465,853	531	1,007,151	5,859	9,208,782
畜産部門計	528	2,573,015	545	2,232,864	563	1,231,403	64	369,429	1,700	6,406,711
その他計	18		54		138		0		210	0
合計	2,332	6,296,003	2,868	5,245,654	1,974	2,697,256	595	1,376,580	7,769	15,615,493

※畜産部門の作付面積は、市町村別畜産統計書（飼料作物）の面積に造成採草地を加えた面積である。

その他は、さとうきび種苗用、さつまいも種苗用、自給用野菜、林産物等の面積で、生産額は不明である。

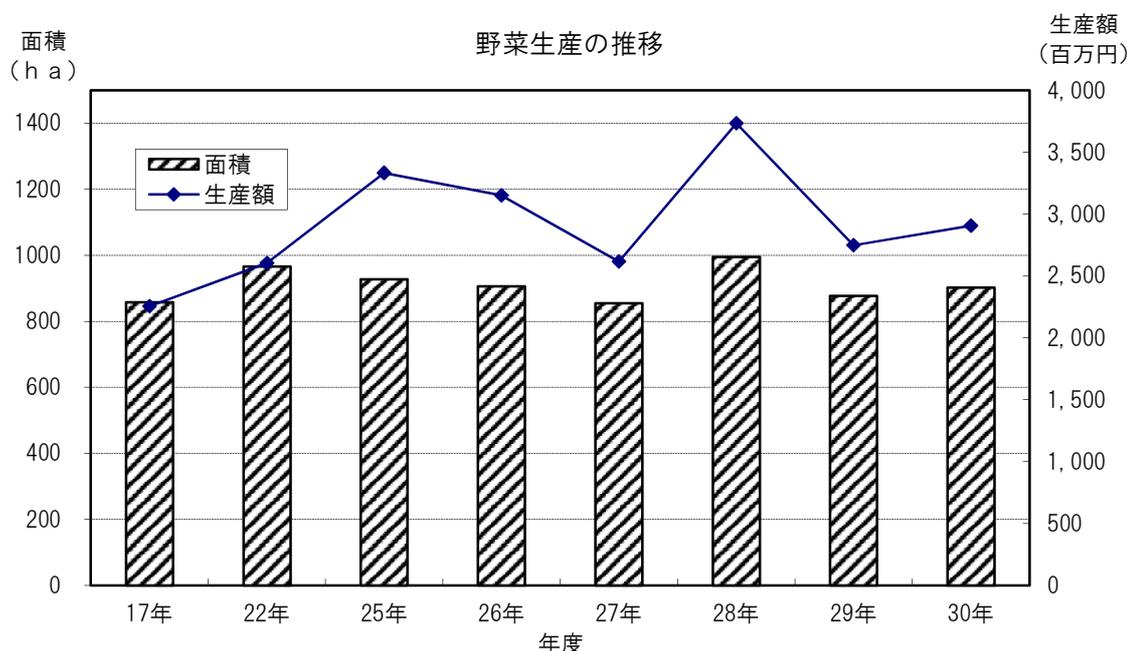
第3節 作物別生産の概況

1. 園芸の振興

(1) 野菜

熊毛地域の野菜は、全国的にも知名度の高い、青果用さつまいもの「安納いも」や、温暖な気候を生かした早春期の「ばれいしょ」を中心に産地化されているほか、種子島では「スナップえんどう」や「ブロッコリー」等、屋久島では「実えんどう」等が主に生産されている。

なお、各品目部会では積極的に「かごしまの農林水産物認証制度」に取り組み、安心・安全な野菜生産に努めている。



野菜生産の推移

単位：ha, 百万円

年度	面積	生産額
17年	858	2,255
22年	966	2,604
25年	928	3,333
26年	906	3,151
27年	855	2,616
28年	995	3,733
29年	877	2,747
30年	902	2,906

平成30年度市町別実績

単位：ha, 百万円

市町名	面積	生産額
西之表市	515	1,798
中種子町	229	659
南種子町	121	340
屋久島町	37	109
計	902	2,906

市町報告

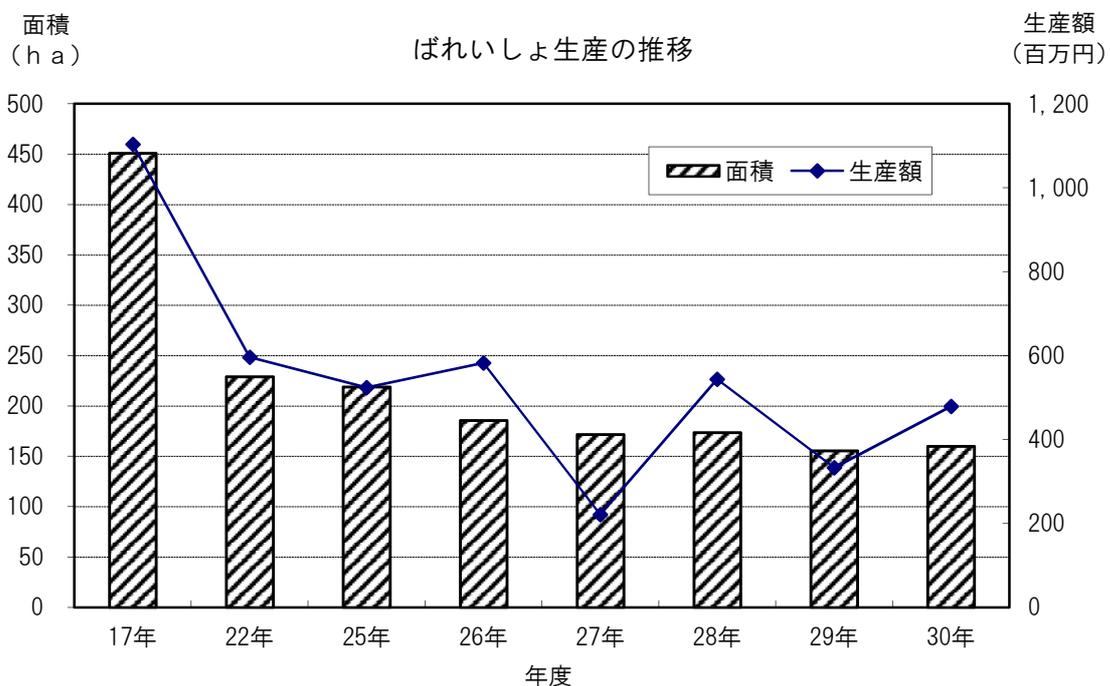
ア ばれいしょ

当地域の園芸作物の主力品目であり、鹿児島県産ばれいしょのリレー出荷（奄美～種子島～肝属～長島）の一産地を担っている。ばれいしょの作付面積は、平成17年度には約450haまで拡大したが、販売価格の下落や病害等の影響により減少している。

平成30年度は生育時に気温が高く推移し、気象災害もなかったため単収が高くなった。しかし、他産地の増収等が影響し2年連続の安値販売となった。

管内全市町のJAばれいしょ部会は「かごしまの農林水産物認証制度」の認証を受けており、安心・安全なばれいしょ栽培に取り組んでいる。

なお、西之表市においては、地場産種いもの供給体制が整備され、優良種苗の確保に努めている。



ばれいしょ生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年度	面積	生産量	生産額
17年	451	7,480	1,104
22年	229	4,906	596
25年	219	4,863	524
26年	186	3,347	583
27年	172	1,546	221
28年	174	2,939	544
29年	155	3,178	333
30年	160	3,825	479

平成30年度市町別実績

単位：ha, t, 百万円

市町名	面積	生産量	生産額
西之表市	96.8	2,606	325
中種子町	25.2	501	47
南種子町	14.9	230	21
屋久島町	23.0	487	86
計	159.9	3,825	479

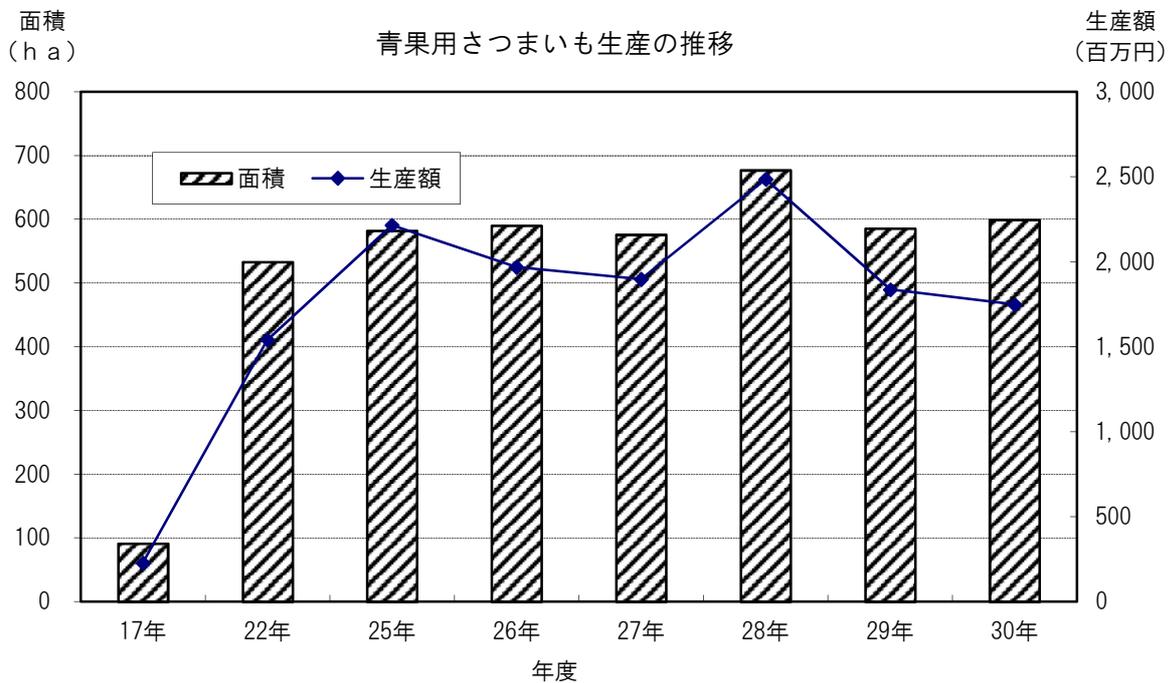
市町報告

イ 青果用さつまいも

近年、糖度の高さや食味の良さにより全国的に「安納いも」の知名度が高まっている。平成22年7月に「安納いもブランド推進本部」が設立され、品質基準の設定や品質管理のための糖度審査を行うなど、地域独自のブランド化に向け、島内一体となった組織的な取り組みがなされている。同ブランド本部は、平成25年6月7日に一般社団法人となり機能強化が図られた。

生産者は「かごしまの農林水産物認証制度」の認証を受け、消費者に信頼される産地づくりに努めている。

平成30年度は、梅雨期の局地的豪雨，夏季の猛暑，台風襲来等の気象災害による生育への影響がみられ，特に台風24号により沿岸部を中心に塩害や茎葉の折損などの被害を受けた。



青果用さつまいも生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年度	面積	生産量	生産額
17年	91	1,394	228
22年	533	8,559	1,540
25年	582	11,968	2,215
26年	590	10,895	1,969
27年	576	10,180	1,897
28年	677	15,550	2,486
29年	585	10,093	1,837
30年	599	10,876	1,749

平成30年度市町別実績

単位：ha, t, 百万円

市町名	面積	生産量	生産額
西之表市	365.1	7,636	1,135
中種子町	139.7	1,869	371
南種子町	89.0	1,321	239
屋久島町	5.0	50	5
計	598.8	10,876	1,749

市町報告

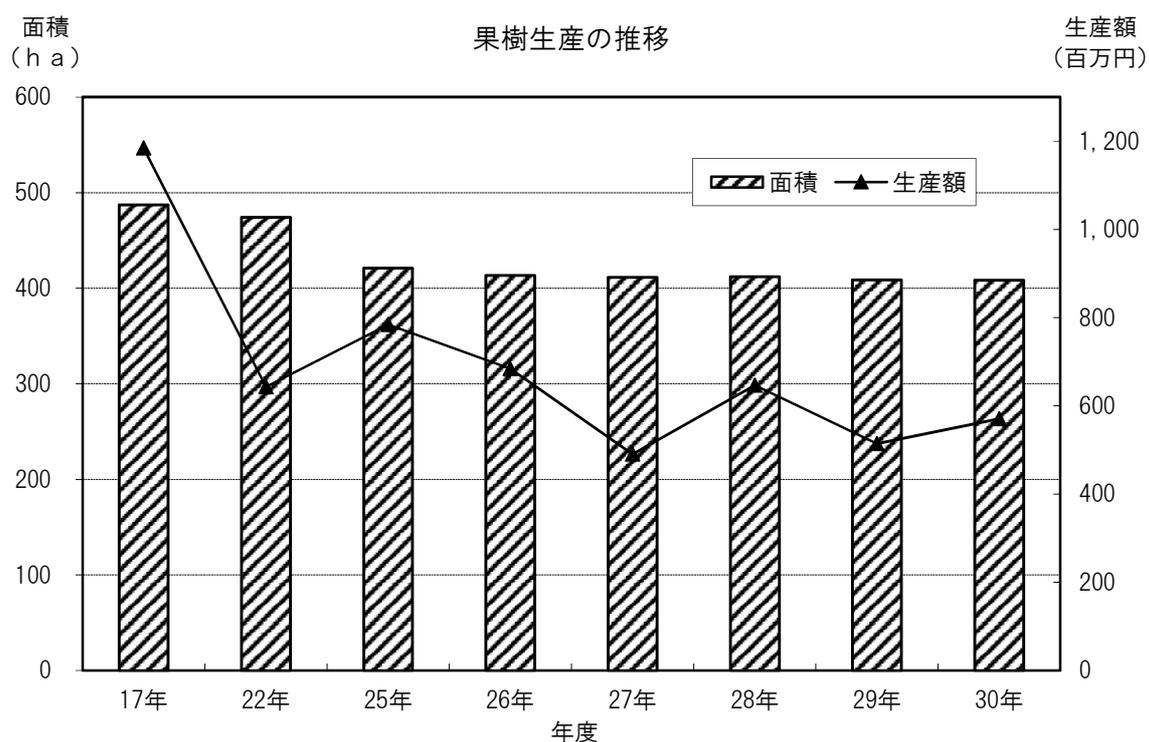
(2) 果 樹

温暖な気候を活かし、屋久島を中心に、ぼんかん、たんかんの産地化が図られているほか、最近では、マンゴー、パッションフルーツの導入も行われ、産地の有利性を発揮できる品目として期待されている。

屋久島のたんかんと種子島のマンゴーは、それぞれその出荷販売を行う種子屋久農業協同組合が、かごしまブランド産品「かごしまのたんかん」及び「かごしまのマンゴー」の構成団体として認定を受けている。

※「かごしまのたんかん」平成30年度団体認定（屋久島）

「かごしまのマンゴー」平成30年度団体認定（中種子，南種子）



果樹生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年度	面積	生産量	生産額
17年	487	3,889	1,184
22年	474	2,342	643
25年	421	2,521	784
26年	413	1,515	684
27年	411	1,195	490
28年	412	2,405	646
29年	409	1,322	514
30年	408	1,720	571

平成30年度市町別実績

単位：ha, t, 百万円

市町名	面積	生産量	生産額
西之表市	2.1	9	7
中種子町	15.1	91	32
南種子町	33.8	174	48
屋久島町	357.2	1,446	484
計	408.2	1,720	571

市町報告

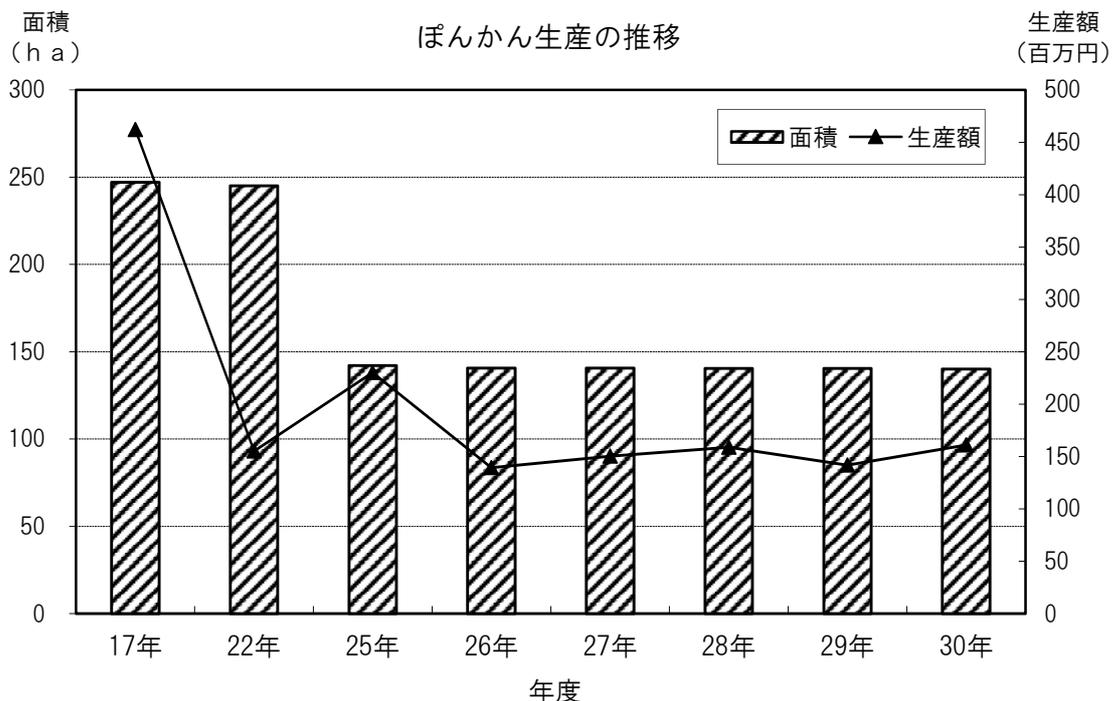
ア ぼんかん

屋久島のぼんかんは、大正13年に黒葛原兼成（つづらはらかねなり）氏により導入（同氏は昭和11年に下屋久村村長となる）され、現在では年末の贈答用として需要がある。

しかし、年内販売主体で販売期間が短く、出荷時期が集中することや、たんかんへの転換等により、平成24年度に約250haあった栽培面積は、現在、約140haで推移している。

平成30年産は台風襲来による落果が多かったが、生産量は平成29年度を上回った。

地域の特産物であるぼんかんの高品質生産を目指して、す上がりや水腐れの少ない優良品種への転換を進めることとしている。



ぼんかん生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年度	面積	生産量	生産額
17年	247	1,718	462
22年	245	850	155
25年	142	896	230
26年	141	287	139
27年	141	439	150
28年	140	650	159
29年	141	415	142
30年	140	515	161

平成30年度市町別実績

単位：ha, t, 百万円

市町名	面積	生産量	生産額
西之表市	0.5	1	0
中種子町	1.5	9	2
南種子町	23.1	107	29
屋久島町	115.0	399	130
計	140.1	515	161

市町報告

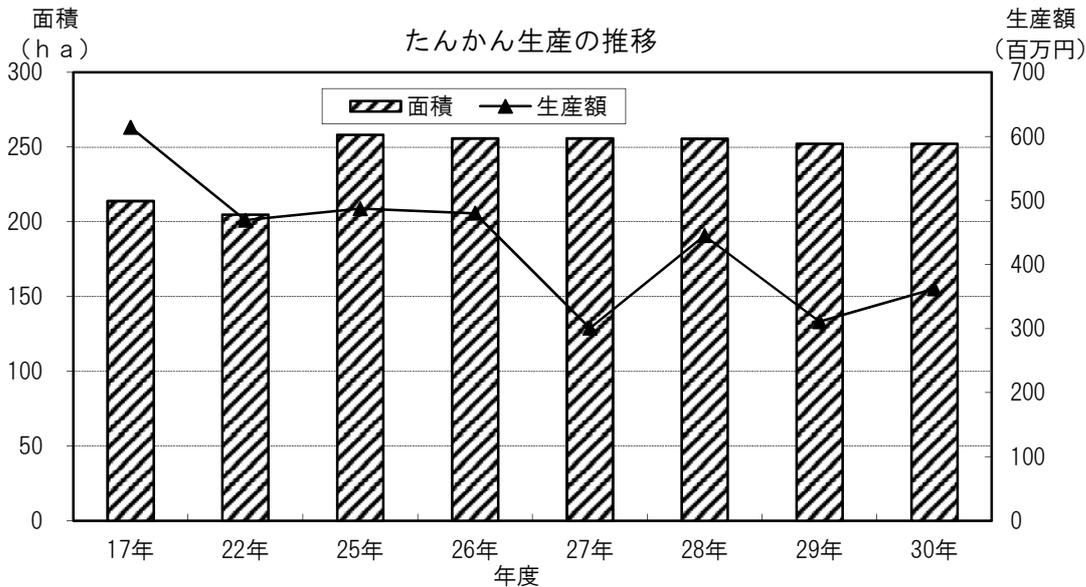
イ たんかん

屋久島のたんかんは、県内で最初に導入された光センサーによる選果により、高品質な果実の厳選と計画出荷に努めている。また、平成19年度に「かごしまブランド産地」として指定を受け、新制度ではその出荷販売を行う種子屋久農業協同組合が、かごしまブランド産品「かごしまのたんかん」の構成団体として認定を受けている。

平成30年産は台風襲来による倒木や果実のスレ等見られたが、開花量が多かったため大幅な収量の減少にはならなかった。

なお、種子屋久農協（屋久島）では、オリジナルブランド「おひさまのほっぺ」（糖度11度以上，クエン酸1%以下，赤秀，L以上の基準を満たしたもの）を商標登録している。

また、平成18年から「かごしまの農林水産物認証制度」の認証を受け、安心・安全で消費者に信頼される産地づくりにも努めている。



たんかん生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年度	面積	生産量	生産額
17年	214	938	614
22年	205	1,331	469
25年	258	1,527	487
26年	256	1,177	480
27年	256	719	301
28年	256	1,717	445
29年	252	847	311
30年	252	1,158	362

平成30年度市町別実績

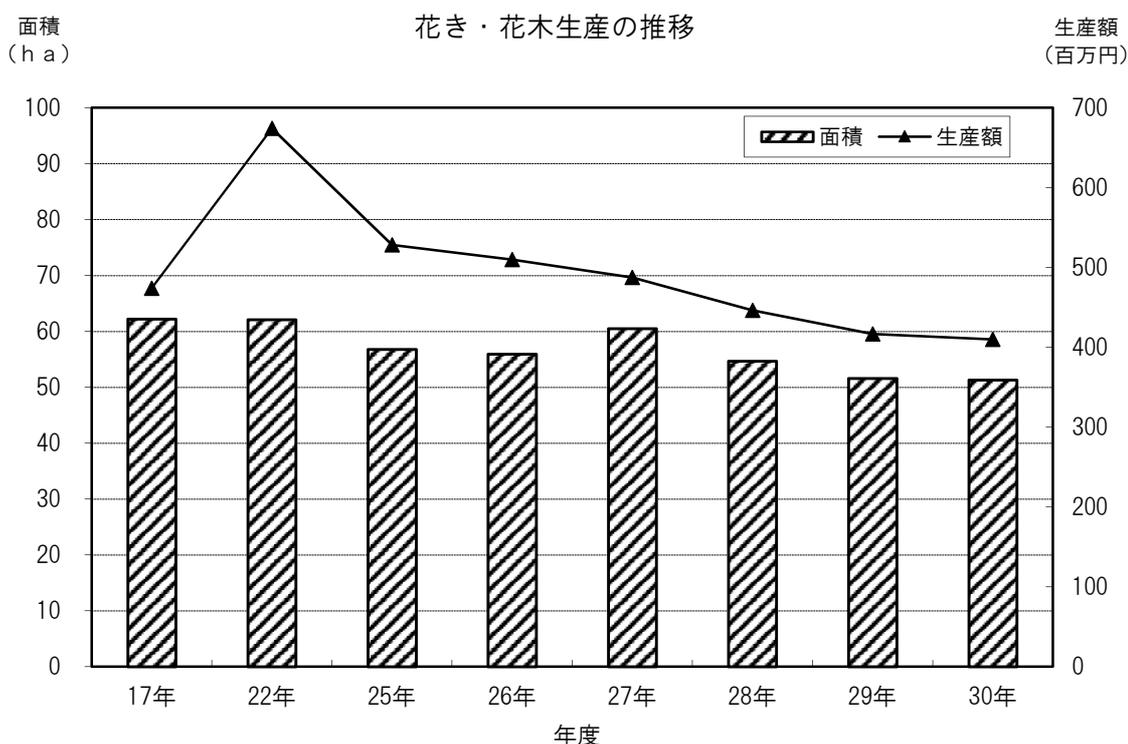
単位：ha, t, 百万円

市町名	面積	生産量	生産額
西之表市	0.3	0	0
中種子町	12.3	75	14
南種子町	9.5	61	14
屋久島町	230.0	1,022	333
計	252.1	1,158	362

市町報告

(3) 花き・花木

花きについては、温暖な気象条件を生かし、かごしまブランド品目であるレザーリーフファンのほか、フェニックス・ロベレニー、ドラセナ等の葉物類、フリージア等の球根類、スプレーギク等の切り花類が生産されている。



花き・花木生産の推移

単位：h a, 百万円

年度	面積	生産額
17年	62	474
22年	62	674
25年	57	528
26年	56	510
27年	61	487
28年	55	446
29年	52	416
30年	51	410

平成30年度市町別実績

単位：h a, 百万円

市町名	面積	生産額
西之表市	20.4	171
中種子町	5.7	53
南種子町	21.6	163
屋久島町	3.6	22
計	51.3	410

市町報告

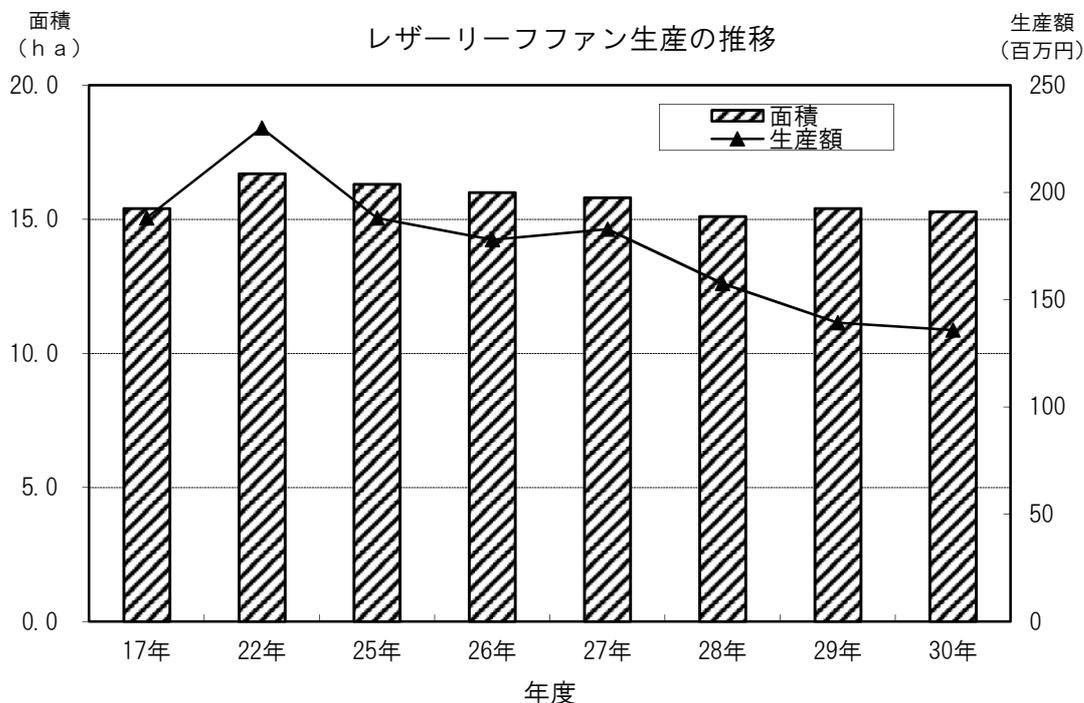
ア レザーリーフファン

種子島の温暖な気候と土壌に適する品目として、昭和60年度に導入され、現在では、栽培面積、生産量ともに全国一の産地となった。京浜、中京、九州、県内の市場等に出荷され、日持ちや選別が良いことから評価が高い。

「種子島のレザーリーフファン」は、平成18年度に花き部門としては第1号の「かごしまブランド産地」として指定され、新制度ではその出荷販売を行う種子屋久農業協同組合がかごしまブランド産品「かごしまのレザーリーフファン」の構成団体として認定を受けている。

平成30年産の生産額は、度重なる台風の襲来による潮風害によって、平成29年産に比べてわずかに減少した。

産地の課題としては、需要の多い冬期の出荷量が少ないことや、植栽年数の長いほ場において収量及び秀品率の低下等があることから、関係機関が一体となって産地体制の強化に取り組んでいる。



レザーリーフファン生産の推移

単位：ha, 百万円

年度	面積	生産額
17年	15.4	188
22年	16.7	230
25年	16.3	188
26年	16.0	178
27年	15.8	183
28年	15.1	157
29年	15.4	139
30年	15.3	136

平成30年度市町別実績

単位：ha, 百万円

市町名	面積	生産額
西之表市	1.2	7.8
中種子町	4.4	45.6
南種子町	9.7	82.4
屋久島町	—	—
計	15.3	135.8

市町報告

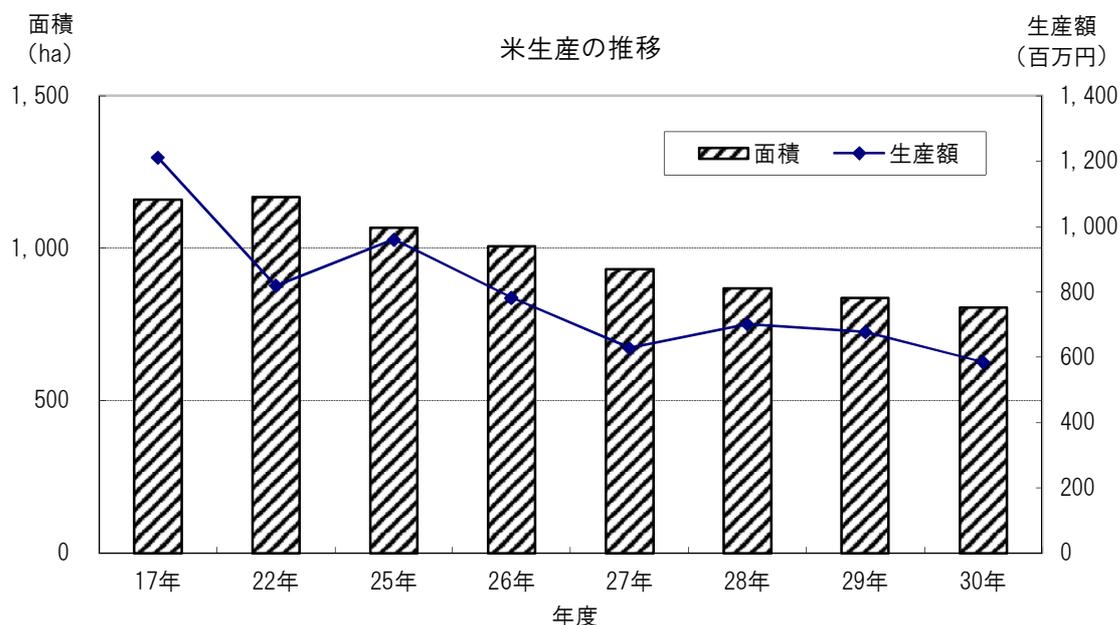
2. 地域特産物

(1) 米

当地区の水稲は、全て早期水稲である。例年、7月中～下旬には出荷が始まり、「日本一早いコシヒカリ」の産地として銘柄確立を図るため、品質向上と安心・安全な米づくりに取り組んでいる。

平成30年度の作付面積は、主食用米以外のWCS等の作付が拡大したため、前年度より30ha少ない806haであった。

生育状況は、登熟期全般が高温・多照で経過したことから、登熟が「やや良」となり、平年を上回る作況となった（作況指数102）。



米の生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年	面積	生産量	生産額
17年	1,160	5,090	1,210
22年	1,168	4,710	818
25年	1,067	4,427	960
26年	1,007	4,183	782
27年	930	3,310	628
28年	868	3,567	702
29年	836	3,416	676
30年	806	3,335	585

平成30年市町別実績

単位：ha, t, 百万円

市町名	面積	生産量	生産額
西之表市	214	875	153
中種子町	269	1,136	229
南種子町	303	1,242	183
屋久島町	20	82	20
計	806	3,335	585

市町報告

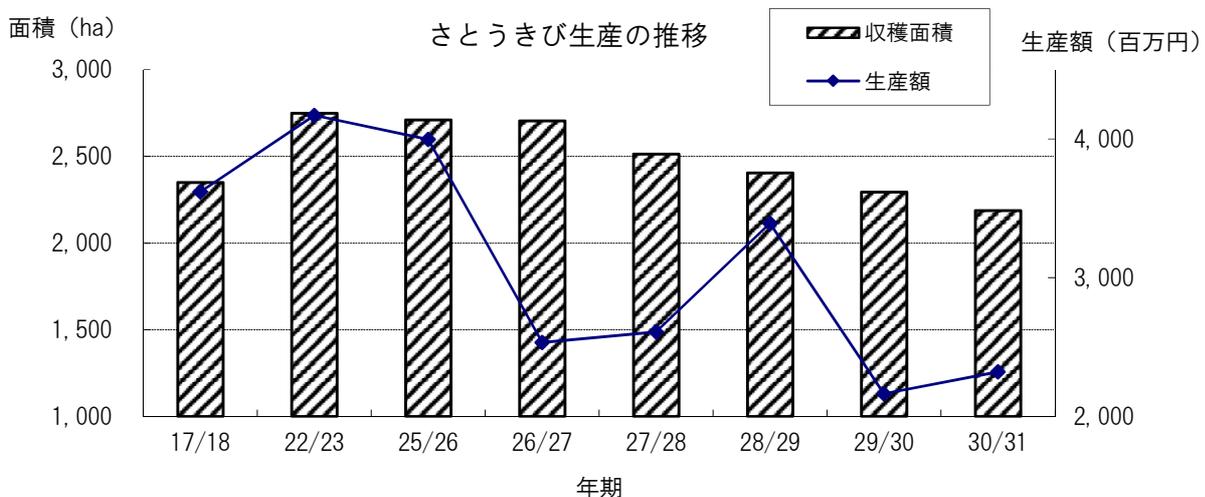
(2) さとうきび

平成30/31年期のさとうきび生産については、収穫面積が前年より107ha減少し、2,187ha（前年比95.3%）となった。

生育概況については、台風襲来により、倒伏、葉部裂傷、塩害等の被害を受け、前年産に続き記録的な不作となった。

生産実績については、生産量114,954 t（前年比98.5%）で、単収5,256kg（前年比103.3%）と生産量は過去最低水準となった。

原料買入甘蔗糖度は台風被害等により、平均12.40度（前年度11.02度）で、基準糖度帯未満（13.1度未満）が74.0%（前年度96.3%）で、基準糖度帯以上は4.7%（前年度3.7%）にとどまり、歩留は10.81%（前年度9.26%）であった。



さとうきび生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年期	収穫面積	生産量	生産額
17/18	2,349	188,665	3,619
22/23	2,749	197,917	4,170
25/26	2,710	189,485	3,996
26/27	2,705	141,641	2,534
27/28	2,513	125,292	2,609
28/29	2,404	158,582	3,392
29/30	2,294	116,708	2,163
30/31	2,187	114,954	2,321

30/31年期さとうきびの市町別内訳

単位：ha, t, 百万円

市町名	収穫面積	生産量	生産額
西之表市	572	29,174	592
中種子町	1,170	66,272	1,336
南種子町	445	19,508	393
計	2,187	114,954	2,321

市町報告

平成30/31年期原料の品質状況

項目	受入数量 (t)	甘蔗糖度階層別内訳 (%)			甘蔗糖度		
		基準帯未満	基準帯糖度	基準帯以上	最高	最低	平均
市町村							
西之表市	28,803	64.5	26.9	8.7	16.9	8.0	12.69
中種子町	66,272	77.4	19.1	3.5	17.0	8.3	12.31
南種子町	19,508	76.5	20.4	3.1	16.8	9.0	12.29
計	114,583	74.0	21.3	4.7	17.0	8.0	12.40

※合計の欄は、端数処理により必ずしも一致しない。

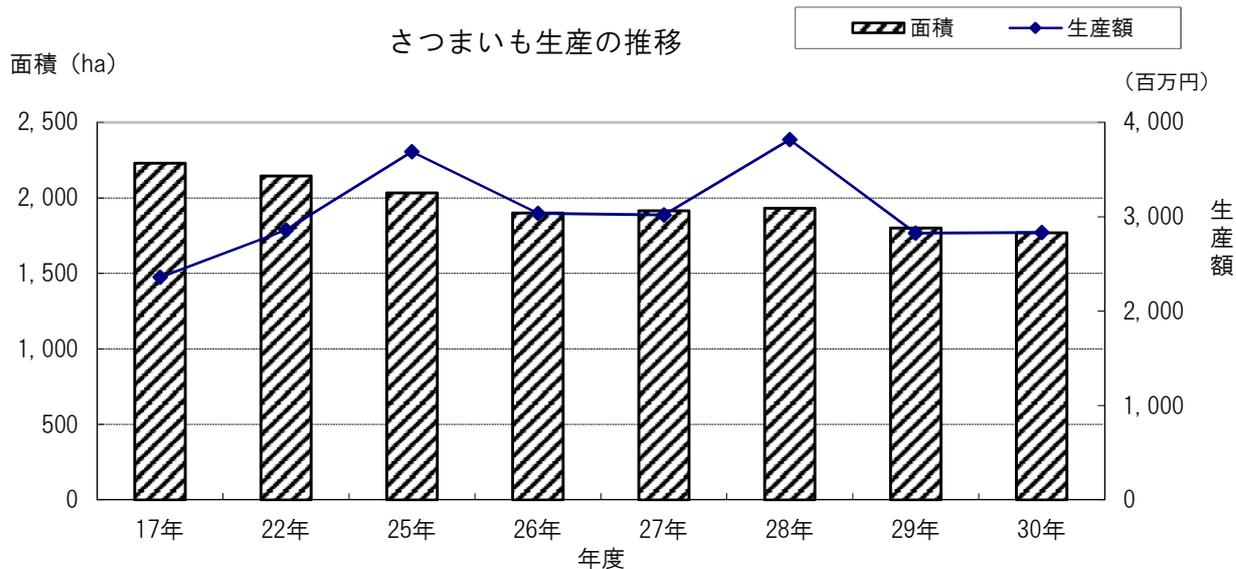
新光糖業報告

(3) さつまいも

さつまいもの作付面積は、前年度より31ha少ない1,769haであった。

平成30年度は、当初順調な生育とみられていたが、9月末以降の台風被害により単収は2,081kg/10a(対前年比104.4%)、生産量は36,805t(前年比102.6%)と低い水準となった。

うち、でん粉原料用さつまいもの生産量は24,057t(前年比100.9%)で、すべて種子島内の4工場処理されたが、工場の操業率は32.8%と低い水準となった。



さつまいも生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年度	面積	生産量	生産額
17年	2,230	62,795	2,359
22年	2,145	44,546	2,859
25年	2,033	51,847	3,690
26年	1,900	38,038	3,036
27年	1,914	39,729	3,019
28年	1,931	49,333	3,816
29年	1,800	35,874	2,825
30年	1,769	36,805	2,833

平成30年度市町別実績

単位：ha, t, 百万円

市町名	面積	生産量	生産額
西之表市	689	14,533	1,505
中種子町	667	14,500	852
南種子町	392	7,441	452
屋久島町	22	332	24
計	1,769	36,805	2,833

市町報告

用途別さつまいも生産量の推移

単位：t, %

用途	28年	29年	30年
でん粉原料用	30,736	23,845	24,057
焼酎原料用	3,048	1,936	1,872
青果用※	15,550	10,093	10,876
合計	49,333	35,874	36,805
でん粉用割合	62.3	66.5	65.4
焼酎用割合	6.2	5.4	5.1

※ 青果用には加工食品用、飼料用、種子用、自家食用を含む

※ でん粉原料用は農協報告、それ以外は市町報告

(4) 葉たばこ

平成30年産の葉たばこの栽培面積は54.6ha(対前年比98.0%)，生産量は144.8t(同108.7%)，耕作者数は前年と同数の31名であった。

作柄は中柄主体であったが，平年より過着葉状態となった。収穫最盛期に2回の台風襲来，台風通過後の枯れ上がりや病気の拡大，さらに7月以降の猛暑等の影響があったが，単収は265kg/10a(対前年比110.9%)，10a当たりの生産額は558千円(同112.5%)，1kg当たりの単価は2,103円(同112.6%)となった。

品質は熟度不足等見られたが，全体的には熟度，組織ともに良質のものが多産された。



葉たばこ生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年度	面積	生産量	生産額
17年	190	491	949
22年	134	240	481
25年	66	140	286
26年	61	148	291
27年	59	121	249
28年	58	137	281
29年	56	133	276
30年	55	145	305

県たばこ耕作組合集計

平成30年度市町別実績

単位：ha, t, 百万円

市町名	面積	生産量	生産額
西之表市	14.9	38.6	80
中種子町	29.9	79.4	166
南種子町	9.8	26.8	58
計	54.6	144.8	305

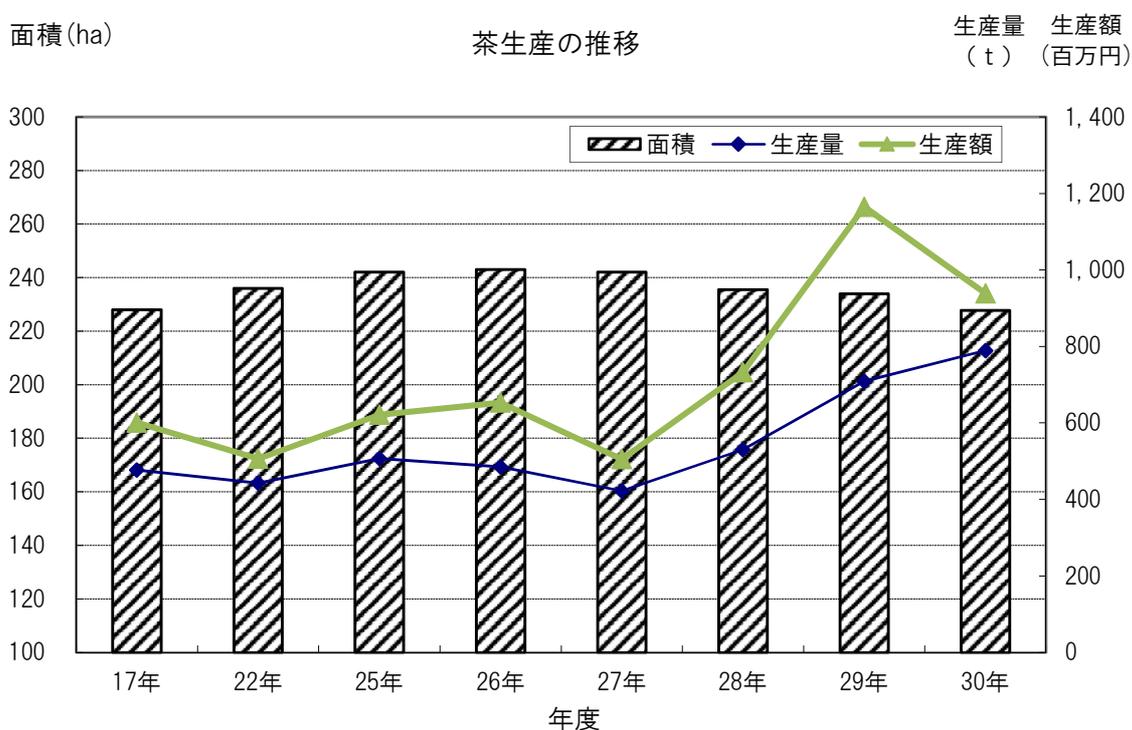
県たばこ耕作組合集計

(5) 茶

温暖な気候条件を生かした「日本一早い走り新茶の産地」としての銘柄向上を図るため、品質向上に取り組むとともに、販路拡大を図るため、GAP認証取得や有機JAS認証取得など消費者ニーズに応じた高品質で安心・安全な茶づくりを推進している。

平成30年産は、一番茶の生育は例年より早く、摘採開始は前年より10日程度早かった。生育が早まり短期集中の摘採になったことと、市場価格が低調で量を確保したため、一番茶の生産量は増加した。二番茶以降も天候に恵まれ生育は順調で、荒茶生産量は789t（前年比111.3%）と大幅に増収したものの、生産額は939百万円（同80.6%）と前年に比べて2割ほど減少した。

栽培面積は近年約230haで推移し、優良品種への新植・改植が進められている。



茶生産の推移

単位：ha, t, 百万円

年度	面積	生産量	生産額
17年	228	477	600
22年	236	443	506
25年	242	507	621
26年	243	485	653
27年	242	422	505
28年	236	530	732
29年	234	709	1,165
30年	228	789	939

平成30年度市町別実績

単位：ha, t, 百万円

市町名	面積	生産量	生産額
西之表市	98	439	511
中種子町	22	55	52
南種子町	20	32	35
屋久島町	88	262	341
計	228	789	939

市町報告

3. 畜産

※ H26数字は、公表数字ではないので注意をお願いします

(1) 振興対策

熊毛地域は、子牛生産を中心とした肉用牛、大規模化が進んだ酪農、肉質の優れた黒豚を主体とする養豚及び島内消費向けの採卵鶏など畜産が盛んな地域である。

肉用牛については、専門化が進んでいるものの、さとうきびやさつまいもなどの中小規模の複合経営が主体の子牛生産地域である。子牛生産地域としての地位を守るため、生産基盤の維持拡大のために、産肉能力の優れた優良繁殖雌牛の自家保留・導入を推進するとともに、低コスト生産体制を強化するために、土地基盤に立脚した経営体の育成を図っている。

乳用牛については、需要の動向に見合った計画生産を基本として、土地基盤に立脚した経営体の育成、高泌乳牛群の造成、飼養管理技術の向上による経営の安定向上を図っている。

豚については、環境と調和した飼養環境づくりと併せて、飼養管理技術の向上を図っている。

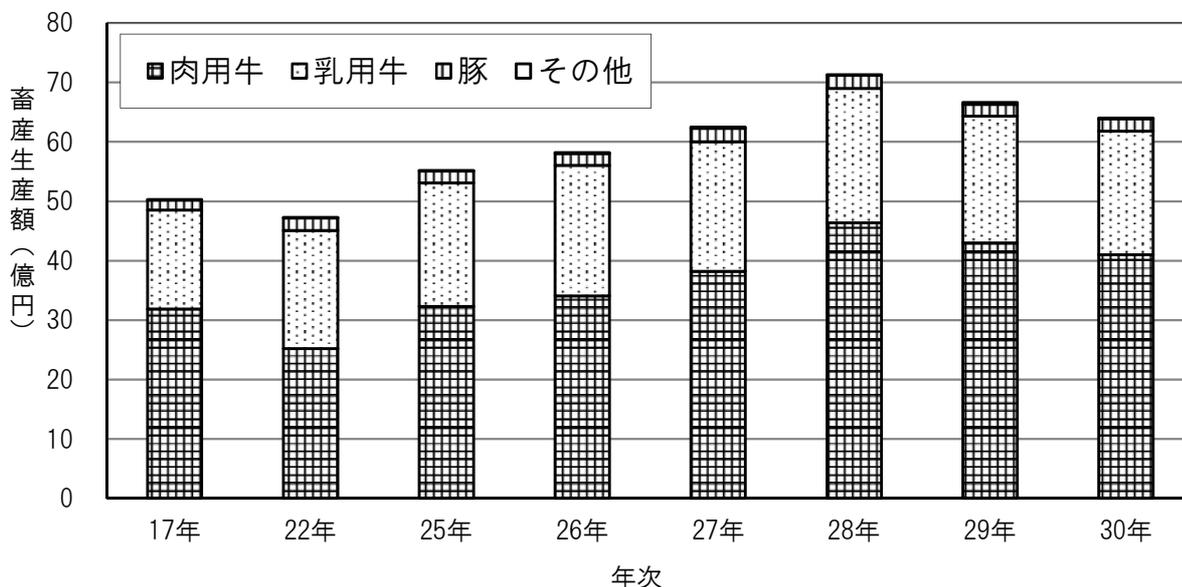
また、草地開発や農地の有効利用による飼料作物の作付面積の拡大を図るとともに、さとうきび副産物、でん粉粕やさつまいも茎葉等の低・未利用資源の活用も推進しながら、飼料自給率の向上を図っている。

(2) 畜産の生産額

平成30年の畜産生産額は子牛価格、乳量が前年より低下減少したことで、6,407百万円（対前年比96.2%）と低下し、熊毛地域農業生産額全体に占める割合は約42%となった。

また、畜産生産額のうち、肉用牛が全体の約64%、次に乳用牛が約32%で、併せて全体の約96%を占めている。

畜産生産額の推移



畜産生産額の推移

単位：億円

区分	17年	22年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
肉用牛	31.9	25.2	32.3	34.1	38.2	46.4	43.0	41.0
乳用牛	16.6	19.9	20.8	22.0	21.8	22.6	21.3	20.8
豚	1.7	2.1	2.0	2.0	2.3	2.2	2.0	2.1
その他	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.3	0.1
合計	50.3	47.3	55.2	58.2	62.5	71.3	66.6	64.1

注1) 平成17年は九州農政局鹿児島農政事務所「鹿児島県生産農業所得統計」

注2) 平成22年以降は熊毛支庁調べ

(3) 肉用牛

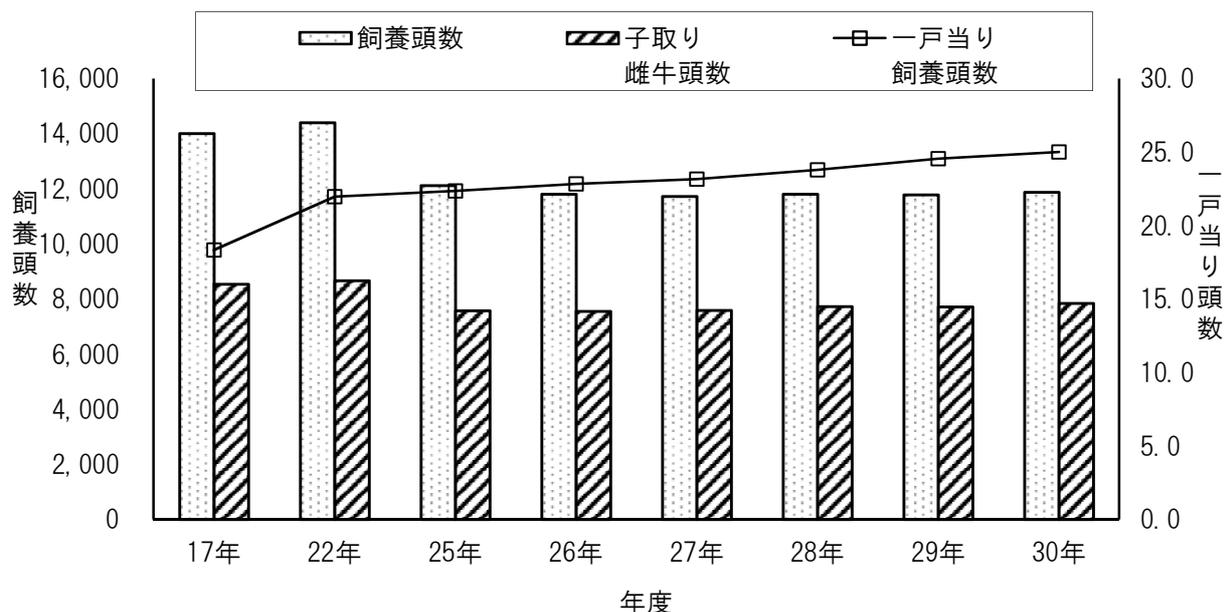
ア 飼養動向

平成30年の飼養戸数は、475戸（対前年比99.0%）と年々減少傾向にある。

飼養頭数は、平成21年をピークに減少傾向にあったが、平成28年は微増に転じ、その後ほぼ横ばいで推移している。平成30年は11,880頭（同100.8%）で前年に比べて微増した。

子牛生産では、曾於、肝属、大島、始良、薩摩に次ぐ県内6番目の産地であり、1戸当たりの飼養規模は肉用牛全体で24.8頭（同101.2%）となっており、微増ではあるが規模拡大が進んでいる。

肉用牛飼養頭数の推移



肉用牛飼養戸数と飼養頭数の推移

単位：戸・頭数

区分	農家戸数	飼養頭数	子取り雌牛頭数	一戸当り飼養頭数	一戸当り飼養頭数(県)
17年	764	14,000	8,540	18.3	23.4
22年	656	14,400	8,670	22.0	30.3
25年	542	12,115	7,572	22.4	34.4
26年	517	11,800	7,553	22.8	35.9
27年	506	11,720	7,586	23.2	37.1
28年	496	11,800	7,730	23.8	38.5
29年	480	11,780	7,720	24.5	41.2
30年	475	11,880	7,840	25.0	44.1

注1) 平成17年は九州農政局鹿児島農政事務所「畜産統計」

注2) 平成22年以降は鹿児島県畜産課調べ、熊毛支庁調べ

市町別飼養戸数と飼養頭数

単位：戸・頭数

区分	農家戸数	飼養頭数	子取り雌牛頭数	一戸当り飼養頭数
西之表市	194	3,850	2,600	19.8
中種子町	174	4,560	2,980	26.2
南種子町	85	2,690	1,780	31.6
屋久島町	22	780	480	35.5
計	475	11,880	7,840	25.0

注) 熊毛支庁調べ(平成31年2月1日現在)

イ 子牛価格

子牛価格は、平成13年9月のBSE発生により急落したものの、平成14年10月から急速に回復し平成19年度まで堅調に推移した。

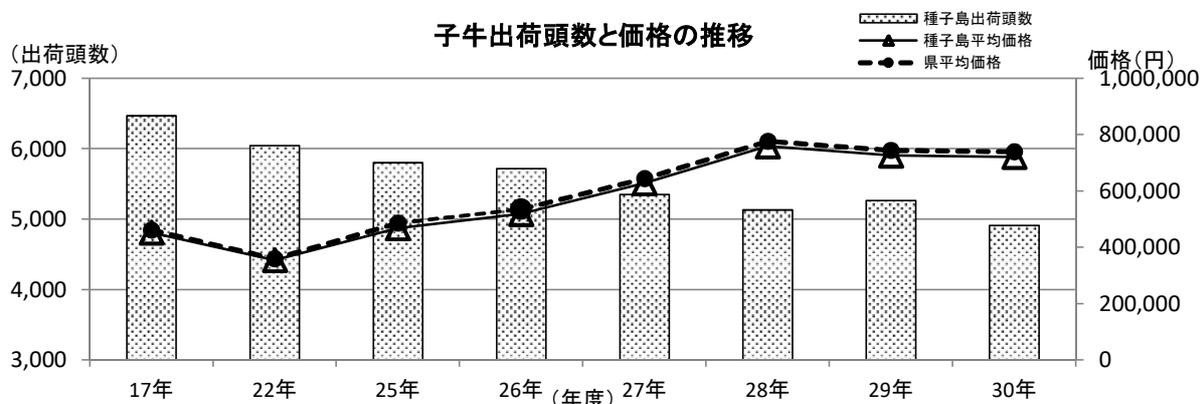
その後、景気低迷による牛肉の消費の落ち込みなどから、子牛価格は下がり、さらに平成22年4月に宮崎県で発生した口蹄疫により、家畜等の移動や出荷が制限されたため、子牛価格も大きな影響を受けた。

平成25年度以降は、子牛価格は回復・上昇し、平成28年度にピークとなった。

平成29年度以降やや低下したものの、平成30年度の種子島家畜市場は721千円（前年度比99.3%）、県平均価格は740千円（同99.4%）と堅調な相場が継続している。

当市場は、地理的に不利な離島の子牛市場であるが、購買者への運賃助成や輸送事故補償制度を実施するとともに、日齢が若く、かつ良好な発育をした品質の高い子牛を上場していることから、購買者の評価が高く、県内本土市場との価格差はなくなっている。

なお、平成19年から屋久島市場を休止、平成25年から口永良部市場も休止し、現在は全頭が種子島家畜市場へ上場されている。



子牛価格（売却）の年度別推移

単位：円(税抜)

市場名	区分	17年	22年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
種子島	雌	413,448	323,803	431,753	481,445	580,972	705,281	660,777	654,074
	去勢	488,837	380,535	497,248	548,429	665,640	803,703	775,124	772,941
	平均	452,255	354,251	467,766	518,442	627,544	758,540	725,848	720,781
屋久島	雌	366,531	※種子島に実績が含まれる。						
	去勢	470,358	※種子島に実績が含まれる。						
	平均	413,616	※種子島に実績が含まれる。						
口永良部	雌	275,485	※種子島に実績が含まれる。						
	雌(去勢)	255,717	※種子島に実績が含まれる。						
	平均	265,963	※種子島に実績が含まれる。						
県平均	雌	422,510	325,163	447,149	494,708	598,415	719,992	681,167	677,540
	去勢	498,901	387,880	518,746	568,716	681,792	823,303	794,915	788,124
	平均	461,561	359,399	486,391	535,621	644,162	776,743	744,352	739,972

注1) 子牛価格はJA種子屋久、経済連、県畜産課資料

注2) 平成22年以降の屋久島市場、口永良部市場は種子島市場に含む

注3) 平均は雌を含む

子牛出荷頭数（売却）の推移

(単位：頭)

市場名	区分	17年	22年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
種子島	雌	3,143	2,800	2,604	2,549	2,409	2,354	2,268	2,155
	去勢	3,327	3,245	3,195	3,166	2,945	2,776	2,995	2,756
	合計	6,470	6,045	5,803	5,717	5,354	5,130	5,263	4,911
屋久島	雌	146	※種子島に実績が含まれる。						
	去勢	131	※種子島に実績が含まれる。						
	合計	277	※種子島に実績が含まれる。						
口永良部	雌	99	※種子島に実績が含まれる。						
	雌(去勢)	92	※種子島に実績が含まれる。						
	合計	191	※種子島に実績が含まれる。						
合計	雌	3,289	2,800	2,604	2,549	2,409	2,354	2,268	2,155
	去勢	3,458	3,245	3,195	3,166	2,945	2,776	2,995	2,756
	合計	6,747	6,045	5,803	5,717	5,354	5,130	5,263	4,911

注1) 子牛売却頭数はJA種子屋久、経済連、県畜産課資料

注2) 平成22年以降の屋久島市場、口永良部市場は種子島市場に含む

(4) 乳用牛

ア 飼養動向

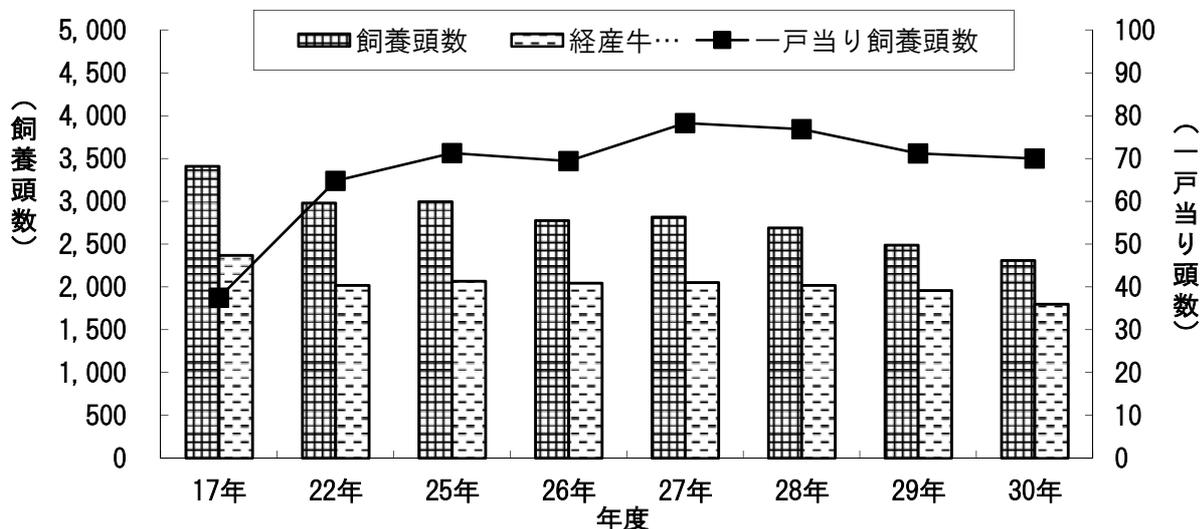
平成30年の飼養戸数は育成農家を含め33戸で、飼養頭数は2,310頭（対前年比92.8%）、うち経産牛は1,800頭（同91.8%）となり、前年より減少し、1戸当りの飼養頭数は70.0頭（同98.5%）となった。

地域の特徴として、これまで育成牛のみ飼養する経営体が多かったが、高齢化などの理由により減少してきている。

一方、搾乳する経営体では規模拡大傾向にあったものの、導入牛の高値推移や離農等により、平成30年の頭数は減少したが、飼養頭数は肝属地域に次ぎ、県内2番目の頭数規模を維持している。

なお、屋久島町（旧上屋久町）では平成11年12月に1牧場が廃止され、乳用牛は飼養されていない。

乳用牛の飼養頭数の推移



飼養戸数と飼養頭数の推移

単位：戸・頭数

年度	農家戸数		飼養頭数	一戸当り飼養頭数	経産牛頭数
		うち育成のみ			
17年	91	15	3,410	37.5	2,370
22年	46	12	2,980	64.8	2,020
25年	42	12	2,994	71.3	2,068
26年	40	10	2,776	69.4	2,045
27年	36	10	2,817	78.3	2,053
28年	35	10	2,690	76.9	2,020
29年	35	10	2,490	71.1	1,960
30年	33	5	2,310	70.0	1,800

注1) 平成17年まで九州農政局鹿児島農政事務所「畜産統計」

注2) 平成22年以降鹿児島県畜産課調べ、熊毛支庁調べ

市町別飼養戸数と飼養頭数

単位：戸・頭数

区分	農家戸数	飼養頭数	経産牛頭数	一戸当り飼養頭数
西之表市	24	1,260	1,010	52.5
中種子町	8	X	X	X
南種子町	1	X	X	X
計	33	2,310	1,800	70.0

注1) 熊毛支庁調べ (H31.2.1)

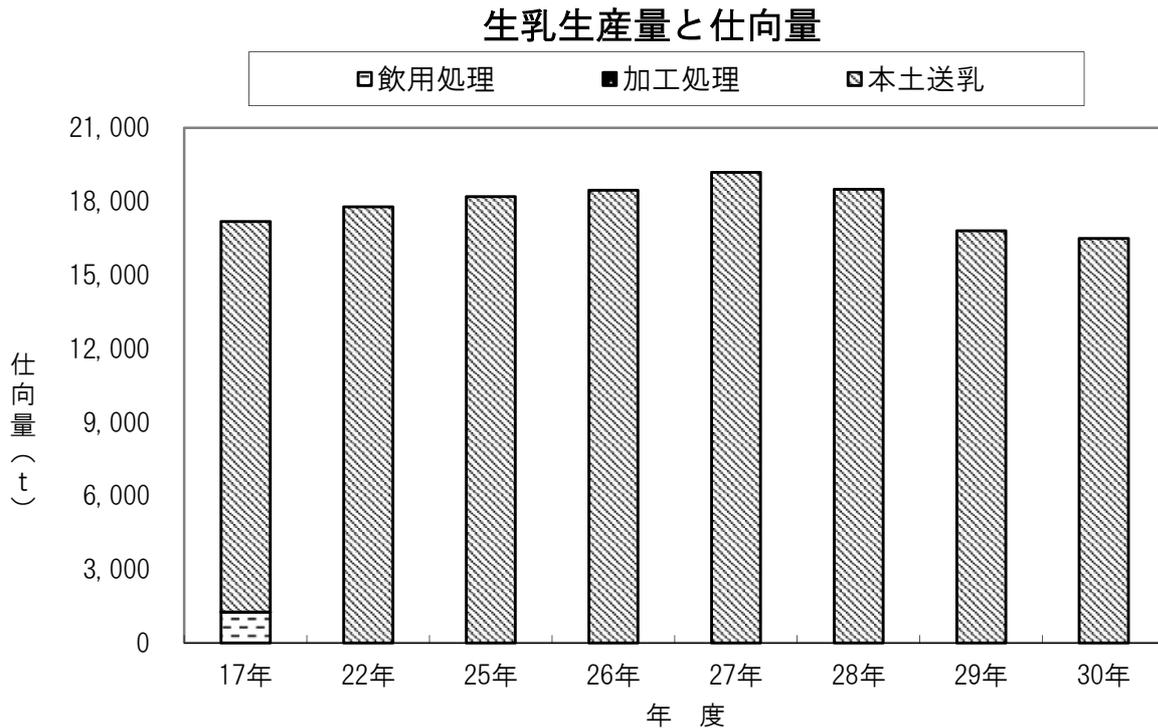
注2) X: 秘密保護上公表しないもの

イ 生乳生産量と処理仕向割合の推移

平成30年度の生乳生産量は16,494 t（対前年比98.1%）となっており、平成27年度から、やや減少傾向にある。

平成17年度まで種子島工場において、一部の生乳を飲用・加工処理していたが、平成18年以降は都城工場で飲用・加工処理を行っており、生乳は全量が本土送乳となっている。

（注） 屋久島工場は平成11年12月に閉鎖。
種子島工場は平成18年以降処理加工していない。



生乳生産量と処理仕向割合の推移

単位：t

年 度	生産量	飲用処理	加工処理	本土送乳
17年	17,184	1,247	18	15,919
22年	17,776	0	0	17,776
25年	18,202	0	0	18,202
26年	18,461	0	0	18,461
27年	19,189	0	0	19,189
28年	18,499	0	0	18,499
29年	16,805	0	0	16,805
30年	16,494	0	0	16,494

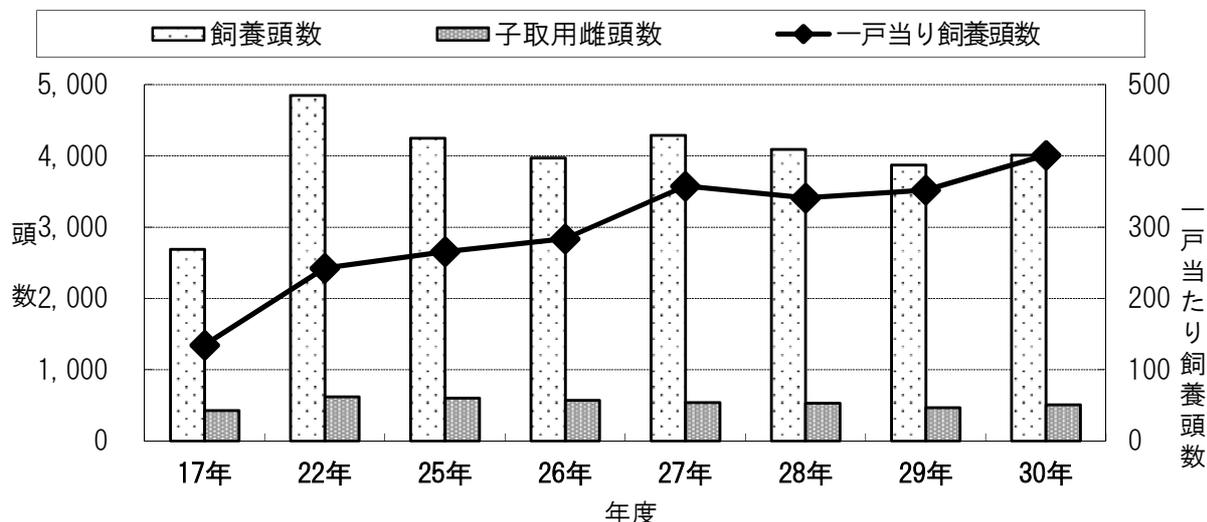
注1) 生産量(販売乳量)は県酪種子島支所データ

注2) H17の処理仕向割合は種子島工場集乳分

(5) 豚

本地域の豚は、肉質の優れたバークシャー種（黒豚）が主に飼養されている。
 平成30年の飼養戸数は10戸、飼養頭数は4,010頭（対前年比103.6%）で、うち子
 取り用雌豚は510頭（同 108.5%）となっている。

豚の飼養頭数，一戸当たりの飼養頭数の推移



農家戸数と飼養頭数の推移（熊毛）

単位：戸・頭数

年度	農家戸数	飼養頭数	子取用雌頭数	一戸当たり飼養頭数
17年	20	2,690	430	135
22年	20	4,850	620	243
25年	16	4,247	604	265
26年	14	3,969	569	284
27年	12	4,290	540	358
28年	12	4,090	530	341
29年	11	3,870	470	352
30年	10	4,010	510	401

注1) 平成17年は九州農政局鹿児島農政事務所「畜産統計」

注2) 平成22年以降鹿児島県畜産課調べ，熊毛支庁調べ

市町別農家戸数と飼養頭数

単位：戸・頭数

区分	農家戸数	飼養頭数	子取用雌頭数	一戸当たり飼養頭数
西之表市	X	X	X	-
中種子町	4	1,550	160	388
南種子町	2	X	X	-
屋久島町	3	1,550	250	-
計	10	4,010	510	-

注1) 熊毛支庁調べ（H31.2.1）

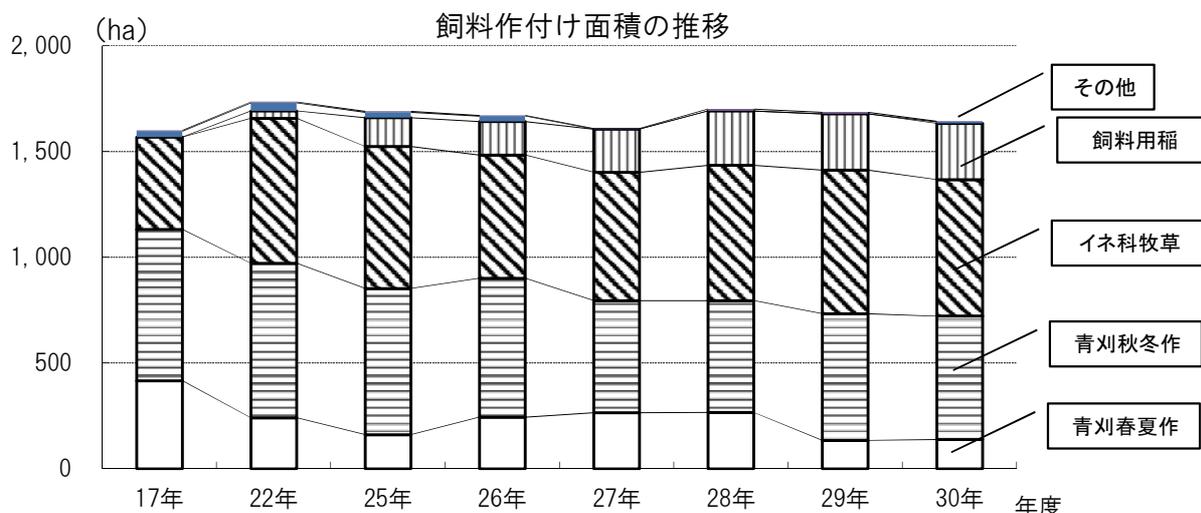
注2) X：秘密保護上公表しないもの

(6) 飼料

ア 飼料作付面積

平成30年の作付面積は、1,643ha（対前年比97.5%）となっている。最近では、ロールベアラーやラッピングマシンの普及に伴い、トウモロコシ、ソルゴーなどの長大作物の作付が減少し、ローズグラスやバヒアグラスなどのグラス系が増加しており、中小の酪農経営や肉用牛繁殖経営では、飼料作物のほかにきびトップ等地域の低・未利用資源を積極的に利用している。

温暖な気候を生かした永年牧草を中心とした飼料作付体制のため、冬場の粗飼料確保が課題である中、粗飼料自給率向上対策として飼料用稲の作付拡大が進んでいる。適切な施肥管理等による単収増加を図る必要がある。



飼料作物作付け状況の推移

単位:ha

年度	青刈春夏作	青刈秋冬作	イネ科牧草	飼料用稲	マメ科牧草混播牧草	根菜類実取用	計
17年	416	716	436	0	28	4	1,600
22年	241	730	686	35	38	5	1,735
25年	161	691	672	135	26	4	1,690
26年	244	656	583	158	26	3	1,670
27年	265	530	606	205	0	2	1,608
28年	267	528	639	257	0	9	1,700
29年	134	599	679	265	0	8	1,685
30年	138	584	645	266	7	3	1,643

注1) 平成17年までは鹿児島県畜産課「市町村別畜産統計」、熊毛支庁調べ

平成30年市町別飼料作物作付け状況

単位:ha

区分	青刈春夏作	青刈秋冬作	イネ科牧草	飼料用稲	マメ科牧草混播牧草	根菜類実取用	計
西之表市	25	247	204	30	0	0	506
中種子町	93	166	250	27	7	2	545
南種子町	17	164	173	209	0	0	563
屋久島町	3	7	18	0	0	1	29
合計	138	584	645	266	7	3	1,643

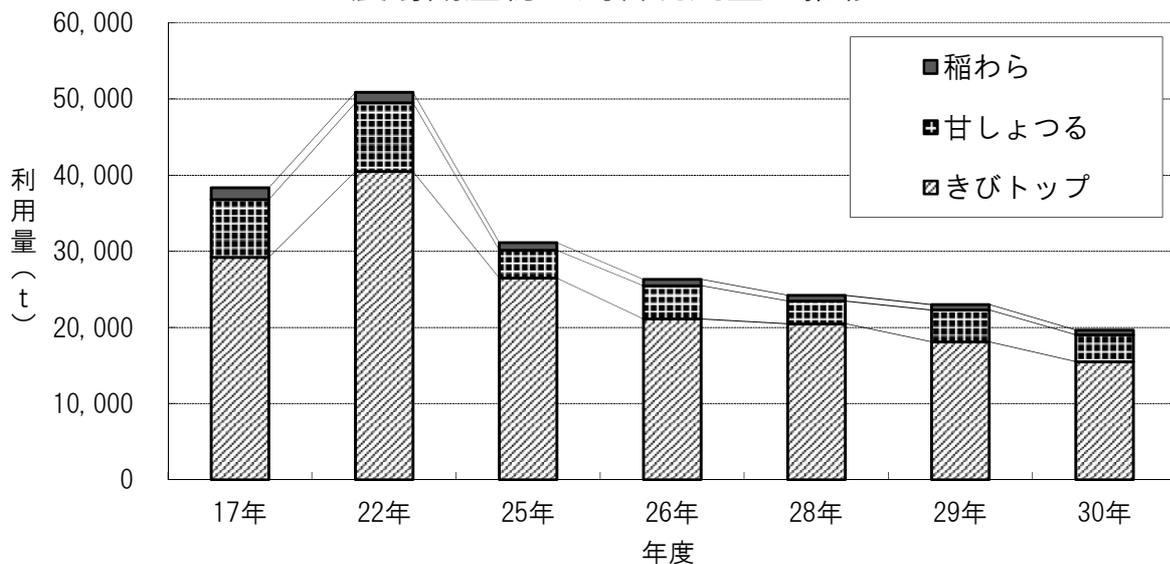
イ 農場副産物の飼料利用

本地域では、基幹作物であるさとうきびやさつまいもの生産過程で発生する、さとうきび梢頭部（きびトップ）、さつまいも茎葉（甘しょつる）、稲わら等が、家畜の飼料として利用されている。

特に、肉用牛繁殖経営においては、これらの副産物の利用により、冬場の粗飼料不足を補いながら飼料費の低減に努めているが、さとうきびにおいては、ハーベスターによる収穫面積の増加によりきびトップの発生量が減少しているため、きびトップの飼料利用量は減少傾向にある。

今後も、これらの農場副産物の有効利用と併せて、でんぷん粕、焼酎粕等の利用を高める必要がある。

農場副産物の飼料利用量の推移



農場副産物等の飼料利用状況

(単位: t)

年度	きびトップ	甘しょつる	稲わら	計
17年	29,216	7,571	1,572	38,359
22年	40,476	9,011	1,386	50,873
25年	26,468	3,659	1,022	29,630
26年	21,111	4,359	845	31,149
28年	20,498	2,961	760	24,069
29年	18,116	4,181	726	24,219
30年	15,514	3,520	622	19,656

注1) 平成17年は鹿児島県畜産課「市町村別畜産統計」

注2) 平成22年以降は、熊毛支庁調べ

第4節 主要施策の成果

1. 創意と意欲に満ちた担い手づくり

(1) 認定農業者の育成

認定農業者については、平成31年3月末で県全体で8,075戸（前年比41戸減）が農業経営改善計画の認定を受けており、そのうち熊毛管内は477戸（前年比17戸減）となっている。一方、認定農業者のうち農業法人は県全体で1,192戸と近年増加傾向であり、熊毛管内では50戸（前年比増減なし）となっている。

各市町の地域担い手協議会が中心となり、農業経営改善計画の新規・再認定を行いながら、農家経営の向上を目指して積極的な活動を続けている。

ア 管内の認定農業者数の推移

（単位：戸）

年度	西之表市	中種子町	南種子町	屋久島町	計	県全体
H28	154	172	115	79	520	8,191
H29	151	173	93	77	494	8,116
H30	148	161	95	73	477	8,075
増減	△ 3	△ 12	2	△ 4	△ 17	△ 41

イ 管内の認定農業者のうち、農業法人数

（単位：戸）

	西之表市	中種子町	南種子町	屋久島町	計	県全体
H28	15	11	8	12	46	1,086
H29	16	14	8	12	50	1,124
H30	16	15	8	11	50	1,192
増減	0	1	0	△ 1	0	68

ウ 認定農業者の主幹作目（平成30年度末）

（単位：戸）

西之表市		中種子町		南種子町		屋久島町	
露地野菜	40	さとうきび	71	肉用牛	27	果樹類	42
肉用牛	27	肉用牛	47	さとうきび	24	茶	9
さとうきび	24	露地野菜	12	露地野菜	13	肉用牛	8
茶	20	葉たばこ	10	稲作	10	露地野菜	5
酪農	12	雑穀いも豆	5	施設花き花木	6	薬用植物	4
葉たばこ	10	酪農	4	茶	5	施設花き花木	2
雑穀いも豆	9	茶	4	葉たばこ	3	養豚	2
露地花き花木	3	養豚	2	雑穀いも豆	3	施設野菜	1
施設花き花木	2	施設花き花木	2	果樹類	1		
施設野菜	1	果樹類	2	酪農	1		
		稲作	2	露地花き花木	1		
				養豚	1		
計	148	計	161	計	95	計	73

ア～ウともに市町報告

(2) 新規就農者の状況

農業者の高齢化が進む中、新規就農者の確保・育成は重要な課題である。新規就農者については、平成31年3月末で県全体で257戸、そのうち熊毛管内は10戸（前年比1戸増）となっており、直近5か年の新規就農者数は83戸となっている。

新規就農者の育成を図るため、基本技術の習得とあわせて、経営診断や経営計画作成指導等による経営的な能力と、情報収集・処理能力の向上を図っている。

また、将来の農業を担う若い農業者に対しては、パソコン簿記研修・プロジェクト活動等を通じて幅広い知識と技術を習得させるとともに、指導農業士等と連携した巡回指導を開催し、地域を担うリーダーとしての資質向上を図っている。

さらに、平成24年度から始まった農業次世代人材投資事業（旧青年就農給付金事業）を活用し、就農前の研修や就農して間もない時期の経営安定に向けた指導・助言を行い、新規就農者の確保・育成を図っている。

ア 新規就農者の推移

市町名	年度									【参考】 直近5か年間の 新規就農者総数
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
西之表市	2	8	15	6	9	6	10	2	2	29
中種子町	7	1	2	2	5	6	6	3	2	22
南種子町	1	2	3	3	4	2	9	2	3	20
屋久島町	1	2	7	1	2	3	2	2	3	12
地域計	11	13	27	12	20	17	27	9	10	83
県計	320	307	396	331	302	291	286	273	257	1,409

イ 主幹作物別就農状況（平成30年度）

市町名	野菜	花き	肉用牛	茶	普通作	さとうきび	果樹	その他	合計
西之表市	1							1	2
中種子町	1					1			2
南種子町	2	1							3
屋久島町				1			2		3
地域計	4	1	0	1	0	1	2	1	10
県計	105	6	49	7	10	7	25	48	257

ウ 就農形態別就農状況（平成30年度）

市町名	後継者等					新規参入	合計
	高卒	研修施設	Uターン	大学他	計		
西之表市			1		1	1	2
中種子町					0	2	2
南種子町					0	3	3
屋久島町			2		2	1	3
地域計	0	0	3	0	3	7	10
県計	39	18	110	7	174	83	257

(注)

- 1 県出先機関の普及業務担当課が、各年度（各年4月から翌年3月）に把握した新規就農者及び学校教育基本調査の結果を取りまとめたものであり、市町発表と異なる場合がある。
- 2 研修施設とは、農業大学校、国・県農業試験場附設の研修施設等である。なお、海外・国内派遣研修を含む。

(3) 市町村農業公社の状況

名称	(公社)西之表市農業振興公社	(公財)種子島農業公社
設立年月日	平成13年9月27日	平成7年7月7日
基本財産	10,000千円	20,000千円
職員数	13人	6人
オペレーター数	7人	2人
農作業受委託面積	1135.1 ^{ヘクタール}	2008.0 ^{ヘクタール}
直営	715.0 ^{ヘクタール}	404.3 ^{ヘクタール}
再委託	420.1 ^{ヘクタール}	1603.7 ^{ヘクタール}

(平成31年3月末時点)

(4) 集落営農組織の育成

区 分	平成27年度末 実績数値	平成28年度末 実績数値	平成29年度末 実績数値	平成30年度末 実績数値
集 落 営 農	11	11	8	8
うち特定農業団体	0	0	0	0
うち特定農業法人	0	0	0	0

管内の集落営農組織は、平成30年度末で8集落

- ① 西之表市川脇集落（安城水稻生産組合） H7～
- ② 西之表市深川集落（深川集落受託作業部会） H18～
- ③ 西之表市番屋峯集落（農事組合法人 種子島茶生産組合） H20～
- ④ 西之表市伊関集落（伊関集落営農組合「百笑一喜」） H30～
- ⑤ 中種子町浜津脇集落（浜津脇集落農地管理組合） H22～
- ⑥ 中種子町宝来集落（宝来集落農地管理組合） H23～
- ⑦ 中種子町原尾集落（原尾集落農地管理組合） H23～
- ⑧ 屋久島町湯泊集落（湯泊地区集落営農「いけんかすつ会」） H24～

(参考) 市町村基本構想の現状 (平成30年12月現在)

		西之表市	中種子町	南種子町	屋久島町
経営基盤強化の促進に関する目標(年間)	認定農業者				
	農業所得	360万円	360万円	360万円	320万円
	労働時間	2,000時間	2,000時間	2,000時間	2,000時間
	認定新規就農者				
	農業所得	150万円	認定農業者の農業所得の4割	150万円	150万円
	労働時間	2,000時間	2,000時間	2,000時間	2,000時間
農用地の利用集積面積目標	H32年度	50%	60%	50%	35%
	H37年度	70%	70%	70%	50%
農地利用集積円滑化事業を行う団体		公益社団法人 西之表市農業振興公社	公益財団法人 種子島農業公社	南種子町	屋久島町

2. たくましい農業の基盤づくり

(1) 生産基盤の整備

畑地かんがいは、西之表市では西京ダムの整備により70%程度の整備率であるが、中種子町と南種子町では、ほぼ未整備な状態である。区画整理は水田、畑ともに整備率は低く、県平均68.4%に対し、熊毛は53.4%である。特に中山間地域の小団地では狭小で未整備の農地が多く残されている。農道整備は県平均61.5%に対して70.2%と進んでいるものの、中山間地域を中心に未整備路線も多く残されている。

平成31年3月31日時点

区 分	種子島				屋久島	熊毛計	県計	
	西之表市	中種子町	南種子町	計	屋久島町			
ほ場整備 (全体)	整備目標 (ha)	2,620	3,110	1,370	7,100	500	7,600	103,450
	整備済(ha)	1,241	1,683	902	3,826	233	4,059	70,836
	整備率(%)	47.4	54.1	65.8	53.9	46.6	53.4	68.4
ほ場整備 (水田)	整備目標 (ha)	180	220	500	900	100	1,000	32,660
	整備済(ha)	133	160	303	595	83	678	26,207
	整備率(%)	73.7	72.6	60.6	66.1	83.2	67.8	80.1
ほ場整備 (畑)	整備目標 (ha)	2,440	2,890	870	6,200	400	6,600	70,800
	整備済(ha)	1,108	1,523	599	3,230	150	3,380	44,628
	整備率(%)	45.4	52.7	68.8	52.1	37.4	51.2	63.0
かんがい 排水 (用水)	整備目標 (ha)	537	547	650	1,730	180	1,910	38,200
	整備済(ha)	245	146	385	776	180	956	31,415
	整備率(%)	45.6	26.6	59.2	44.9	100.0	50.1	82.2
畑地 かん がい	整備目標 (ha)	1,040	1,920	840	3,800	800	4,600	56,050
	整備済(ha)	723	141	24	888	618	1,506	29,192
	整備率(%)	69.5	7.3	2.9	23.4	77.3	32.7	52.3
農道 整備	整備目標 (km)	750	370	280	1,400	300	1,700	18,790
	整備済(km)	376	352	225	952	242	1,194	11,556
	整備率(%)	50.1	95.1	80.3	68.0	80.7	70.2	61.5
農地 保全	整備目標 (ha)	2,119	1,480	160	3,760	45	3,805	75,470
	整備済(ha)	264	887	156	1,307	44	1,351	62,458
	整備率(%)	12.4	59.9	97.3	34.8	97.8	35.5	82.7

注：ラウンドの関係で合計が合わない箇所がある。

資料：県農地整備課

(2) 経営基盤の強化

優良農地を確保し、農地の有効な利用を推進するため、規模拡大を志向する農業者に対するあっせん活動、農地中間管理事業等による農地の利用集積などを通じて、担い手等の経営規模の強化を図っている。

区分	担い手への農地利用集積状況						農地移動適正化あっせん事業の実施状況	
	担い手数(※)		担い手への農用地利用集積面積(※)		担い手への集積率(※)		あっせん件数	あっせん面積
	人	うち、認定農業者数 人	ha	うち、認定農業者への利用集積面積 ha	%	うち、認定農業者への集積率 %		
市町							件	ha
西之表市	241	148	736	545	23.2	17.2	14	0.25
中種子町	195	161	1,110	1,021	32.8	30.2	—	—
南種子町	107	95	534	507	24.5	23.3	—	—
屋久島町	81	73	269	252	27.6	25.8	—	—
計	624	477	2,649	2,325	27.2	23.9	14	0.25
前年度計	623	494	2,653	2,386	27.2	24.5	4	1.07
増減	1	△17	△4	△61	0.0	△0.6	10	△0.82

※ 表中の「担い手」とは、認定農業者、認定新規就農者、基本構想水準到達者、集落営農経営を指す。

(平成30年度末、市町報告)

(3) 環境にやさしい農業の推進

ア 健全な土づくり

① 土壌の特性

本地域の水田土壌の多くは、腐植含量が少なく、粗い土性のため、養分が欠乏している。また、河川流域や谷間などに分布する水田の多くは排水不良である。台地上に分布する水田は、火山灰土壌で磷酸や塩基類の乏しい土壌が多く、含鉄資材、珪酸資材の投入、塩基類の補給、有機物の増施、施肥改善、排水等の対策が必要な土壌である。

畑土壌は、水成岩上に堆積した洪積層の上部をバン土性の強い不良火山灰土壌が覆っており、山腹の傾斜地や液状地帯には表土の流亡した生産力の低い畑地が広く分布している。このため、バン土性の改良、土壌浸食防止、深耕、有機物増施、かんがい対策等の必要な土壌である。

② 地力保全

良質堆肥の生産利用を推進し、有機物の施用や深耕等による健全な土づくりに努めるとともに、定期的な土壌診断に基づく施肥管理を推進している。

イ 持続性の高い農業生産方式の導入推進

国民の「安心・安全な農産物生産」及び「農業が果たす多面的機能」への関心が高まる中で、生産性と環境保全が調和する持続的な農業の展開が求められている。このため、持続性の高い農業生産方式の導入計画を立て、認定を受けたエコファーマーの育成・確保に努めている。

エコファーマーの認定状況（平成31年3月末時点）

市町名	認定件数	主な品目
西之表市	11	青果用さつまいも、加工用さつまいも
中種子町	2	青果用さつまいも
南種子町	27	青果用さつまいも、早期水稻、にんじん
屋久島町	1	ばれいしょ
地区計	41	

ウ かごしまの農林水産物認証制度の導入推進

消費者の食の安心・安全への関心の高まりに対応するために、熊毛地域では関係機関が一体となって「かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）」の取得を促進している。JA取扱いの主要な園芸品目で取得しているほか、青果用さつまいも（安納いも）では、個人・団体で取得した。

平成30年度は、85件が認証された（前年比△2件）。

平成30年度かごしまの農林水産物認証制度認証実績

平成31年3月末日現在

件数	認証団体等	市町村名	品目	認証年月日	認証回数	肥・農・特裁
1		西之表市	そらまめ	H30.12.18	12	
2		西之表市	さやえんどう	H30.11.27	11	
3	西之表市野菜部会協議会 マメ類部会	西之表市	スナップえんどう	H30.11.27	12	
4		西之表市	いんげん	H30.10.23	10	
5		西之表市	実えんどう	H30.11.27	1	
6		西之表市	かぼちゃ(春)	H30.4.17	12	
7		西之表市	かぼちゃ(抑制)	H30.11.27	8	
8	西之表市野菜部会協議会 果菜類部会	西之表市	ブロッコリー	H30.12.18	2	
9		西之表市	にがうり	H30.5.22	6	
10		西之表市	オクラ	H30.5.22	6	
11	西之表市野菜部会協議会 ばれいしょ部会	西之表市	ばれいしょ	H31.1.29	11	
12	西之表市野菜部会協議会 青果用さつまいも部会	西之表市	さつまいも	H30.8.21	12	
13	株式会社 安納スウィーツファーム 農業生産法人	西之表市	さつまいも	H30.8.21	11	
14	安納地区さつまいも生産グループ	西之表市	さつまいも	H30.9.25	9	
15	有限会社 西田農産	西之表市	さつまいも	H30.8.21	9	
16	野崎 一夫	西之表市	さつまいも	H30.8.21	9	
17	平原 英実	西之表市	さつまいも	H30.8.21	9	
18	こだわり工房「ひょうたん島」	西之表市	さつまいも	H30.9.25	10	
19	マル種園芸組合	西之表市	さつまいも	H30.9.25	9	
20	有限会社 F Yファーム	西之表市	さつまいも	H30.9.25	9	
21	山田 利光	西之表市	さつまいも	H30.9.25	9	
22	農業生産法人 株式会社 REIMEI	西之表市, 中種子町	さつまいも	H30.8.21	8	
23		西之表市	スナップえんどう	H30.11.27	3	
24	折口生産グループ	西之表市	さつまいも	H30.8.21	8	
25	SKファーム	西之表市	さつまいも	H30.9.25	8	
26	種子島現和風本生産グループ	西之表市	さつまいも	H30.8.21	8	
27	濱川 和成	西之表市	さつまいも	H30.9.25	6	
28	竹之内 安宏	西之表市	さつまいも	H30.8.21	5	
29	木下 元子	西之表市	さつまいも	H30.10.23	5	
30	特撰種子島安納いも生産部会	西之表市	さつまいも	H30.10.23	4	
31	遠藤 建次郎	西之表市	さつまいも	H30.9.25	3	
32	脇 正司	西之表市	さつまいも	H30.8.21	2	
33	鎌倉 隆幸	西之表市	さつまいも	H30.8.21	1	
34	荒河 健一	西之表市	さつまいも	H30.8.21	1	
35	上妻 輝光	西之表市	さつまいも	H30.9.25	1	
36	柳 武春	西之表市	さつまいも	H30.10.23	3	
37	さご農園	西之表市	パッションフルーツ	H30.6.19	7	
38	西之表市茶業振興会 K-GAP推進部会	西之表市	緑茶	H31.2.20	2	
39	種子屋久農協 中種子町園芸振興会スナップエンドウ部会	中種子町, 西之表市	スナップえんどう	H30.11.27	11	
40	種子屋久農協 中種子町園芸振興会ブロッコリー部会	中種子町	ブロッコリー	H30.11.27	9	
41	種子屋久農協 中種子町園芸振興会さつまいも部会	中種子町	さつまいも	H30.8.21	9	
42	種子屋久農協 中種子町園芸振興会 ばれいしょ部会	中種子町	ばれいしょ	H31.1.29	9	
43	株式会社 種子島ファーム	中種子町	さつまいも	H30.9.25	9	
44	種子島安納株式会社	中種子町, 西之表市	さつまいも	H30.8.21	9	
45	砂坂 展恵	中種子町	さつまいも	H30.8.21	9	
46	農業生産法人 株式会社 さんこうファーム	中種子町	さつまいも	H30.9.25	9	
47	岩田 正利	中種子町	さつまいも	H30.8.21	9	
48	永演農園	中種子町	さつまいも	H30.8.21	9	
49	株式会社 種子島安納大地	中種子町	さつまいも	H30.9.25	9	
50	中馬 幸人	中種子町	さつまいも	H30.8.21	8	
51	大町田 房子	中種子町	さつまいも	H30.8.21	7	
52	株式会社 たすくる	中種子町	さつまいも	H30.8.21	3	
53	種子屋久農協 中種子果樹部会マンゴー部会	中種子町, 南種子町	マンゴー	H30.5.22	9	
54	種子屋久農協 中種子果樹部会 たんかん部会	中種子町	たんかん	H31.1.29	7	
55	山崎 大祐	中種子町	さつまいも	H30.9.25	4	
56	渡辺 勉	中種子町	さつまいも	H30.8.21	3	
57	株式会社 九州トータルプランニング	中種子町	さつまいも	H30.9.25	4	
58	株式会社 うずえ屋	中種子町	さつまいも	H30.9.25	2	
59	中種子町茶業振興会 K-GAP推進部会	中種子町	緑茶	H31.2.20	2	
60	種子屋久農協 南種子町園芸振興会 まめ類部会	南種子町	さやえんどう	H30.11.27	10	
61		南種子町	スナップえんどう	H30.11.27	10	
62	種子屋久農協 南種子町園芸振興会さつまいも部会	南種子町	さつまいも	H30.8.21	9	
63	種子屋久農協 南種子町園芸振興会 ばれいしょ部会	南種子町, 中種子町	ばれいしょ	H31.1.29	9	
64	種さん	南種子町	さつまいも	H30.8.21	9	
65	L L P法人宇宙船種子島 さつまいも生産部	南種子町	さつまいも	H30.9.25	9	
66	黒船乃里ファーム	南種子町	さつまいも	H30.8.21	9	
67	友愛ファーム	南種子町	さつまいも	H30.8.21	9	
68	小脇 政秀	南種子町	さつまいも	H30.8.21	9	
69	日高 洋子	南種子町	さつまいも	H30.8.21	9	
70	種子島南興ファーム	南種子町	さつまいも	H30.10.23	9	
71	向井 隆博	南種子町	さつまいも	H30.8.21	8	
72	種子島銀河商店	南種子町	さつまいも	H30.9.25	7	
73	種子島安納芋生産組合	南種子町, 中種子町	さつまいも	H30.9.25	5	
74	西園 竜太	南種子町	さつまいも	H30.8.21	3	
75	小脇 文子	南種子町	さつまいも	H30.8.21	3	
76	アグリカルANNO	南種子町	さつまいも	H30.9.25	4	
77	Orga種子島	南種子町	さつまいも	H30.9.25	5	
78	鮫島 辰義	南種子町	さつまいも	H30.9.25	3	
79	株式会社 夢福	南種子町	さつまいも	H30.9.25	3	
80	大脇 正秀	南種子町	さつまいも	H30.9.25	1	
81	菱川農園	南種子町	さつまいも	H30.10.23	2	
82	種子屋久農協 屋久団地野菜部会	屋久島町	ばれいしょ	H31.1.29	9	
83		屋久島町	実えんどう	H30.12.18	8	
84	種子屋久農協 屋久島果樹部会	屋久島町	たんかん	H31.1.29	13	
85	屋久島町茶業振興会 K-GAP推進部会	屋久島町	緑茶	H31.2.20	2	

エ 農業用廃プラスチック類の回収の推進

使用済みの被覆資材等の農業用廃プラスチック類は、産業廃棄物として扱う必要があり、農家自らの責任で適正に処理をしなければならない。一方で、これらの資材は、リサイクル資源でもあり、環境にやさしい農業を推進する観点からも再処理が求められている。

このため、各市町の農業用廃プラスチック類適正処理推進協議会において、廃プラ等の適正処理に向けた普及啓発や定期的な回収が行われている。

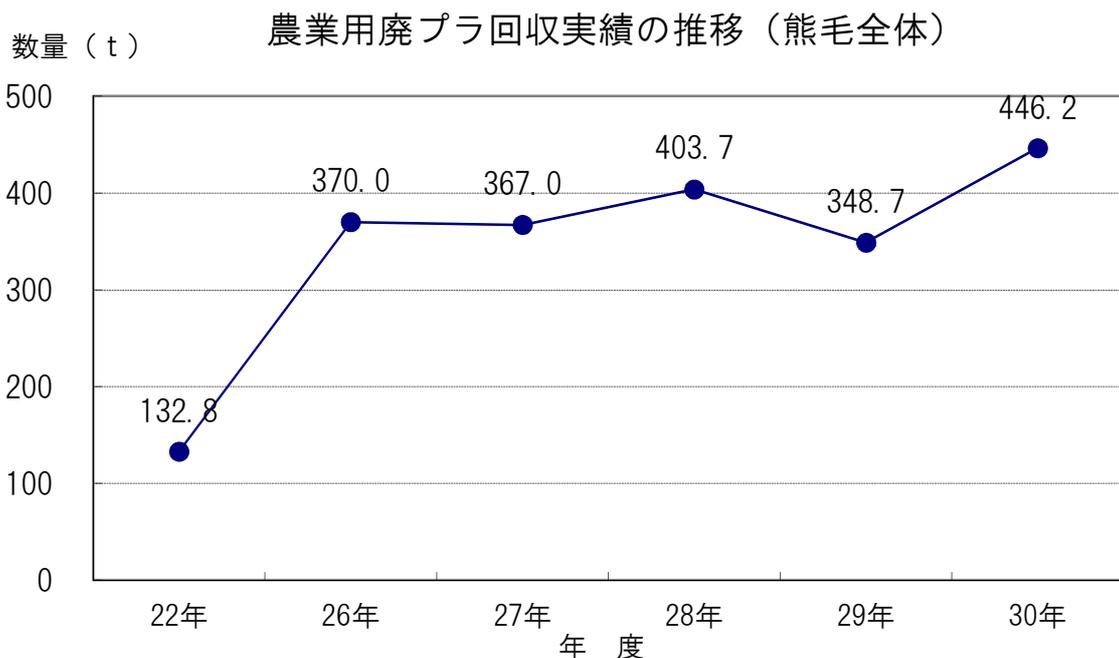
再生処理実績の推移

(t, %)

市町	年度	22年	26年	27年	28年	29年	30年
		H21.7~H22.6	H26.4~H27.3	H27.4~H28.3	H28.4~H29.3	H29.4~H30.3	H30.4~H31.3
西之表市	数量	63.4	207.0	195.0	225.0	175.4	196.7
	再生処理率	25.7	98.6	100.0	100.0	100.0	100.0
中種子町	数量	17.9	86.0	95.0	104.1	89.9	80.4
	再生処理率	17.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
南種子町	数量	36.6	49.0	54.0	58.1	60.9	143.7
	再生処理率	100.0	36.0	39.7	41.6	42.9	45.0
屋久島町	数量	14.9	28.0	23.0	16.5	22.5	25.4
	再生処理率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
熊毛計	数量	132.8	370.0	367.0	403.7	348.7	446.2
	再生処理率	33.0	80.4	81.7	82.8	81.1	81.1
県計	数量	4,210.0	5,178.0	4,835.0	5,297.0	6,187.0	6,053.0
	再生処理率	74.0	86.8	85.2	86.2	85.8	87.4

※市町報告（農業用廃プラスチック類に関する調査）

※25年度から調査期間が変更された。



3. 鳥獣害対策について

(1) 現状

鳥獣による平成30年度の鳥獣被害額は61百万円で、鳥獣別ではシカによる被害が最も多く、42百万円であった。

近年シカによる被害額は減少傾向にあり、これまでの各種対策の効果が現れつつある。

鳥獣害は耕作放棄地の拡大や農業者の生産意欲の減退につながることから、作物残渣の適正処理など地域ぐるみの対策を進めつつ、補助事業を活用して捕獲支援や侵入防止柵の設置などの被害防止対策を実施している。

(2) 被害額の推移

単位；千円

鳥獣	地区	H26	H27	H28	H29	H30	被害品目
シカ	種子島	76,911	70,872	65,625	46,417	38,367	種子島 さつまいも、さとうきび、牧草、葉たばこ、水稻、茶等 屋久島 たんかん、ぼんかん、茶等
	屋久島	10,725	6,723	4,975	4,303	4,031	
	計	87,636	77,595	70,600	50,720	42,398	
サル	種子島	0	0	0	0	0	たんかん、ぼんかん 茶、さつまいも等
	屋久島	6,747	3,254	2,349	2,368	2,249	
	計	6,747	3,254	2,349	2,368	2,249	
タヌキ 他獣害	種子島	0	74	0	0	0	
	屋久島	257	0	0	0	0	
	計	257	74	0	0	0	
カラス	種子島	4,902	2,711	5,160	5,323	13,058	種子島 スナップエンドウ、さつまいも等 屋久島 たんかん、ぼんかん、ばれいしょ等
	屋久島	313	412	160	124	113	
	計	5,215	3,123	5,320	5,447	13,171	
ヒヨドリ	種子島	24,672	10,210	2,770	696	304	種子島 スナップエンドウ等
	屋久島	2,821	2,394	0	0	0	
	計	27,493	12,604	2,770	696	304	
スズメ カモ ハト他	種子島	2,795	2,784	13,277	1,807	2,646	水稻、さつまいも等
	屋久島	0	0	0	0	0	
	計	2,795	2,784	13,277	1,807	2,646	
計	種子島	109,280	86,651	86,833	54,242	54,375	
	屋久島	20,863	12,783	7,484	6,795	6,393	
	計	130,143	99,434	94,316	61,038	60,768	

(3) 鳥獣侵入防止対策の主な実施状況

年度	事業名	地区	事業内容	事業量(柵延長)(m)
H30	鳥獣被害防止総合対策交付金 (鳥獣被害対策実践事業)	西之表市	シカ用金網柵	14,616
		中種子町	シカ用電気柵	9,935
	地域振興推進事業 (シカとの共存と被害ゼロ促進事業)	西之表市	シカ侵入防止ネット・支柱	74,400
		中種子町	シカ侵入防止ネット・支柱	10,800
		南種子町	シカ侵入防止ネット・支柱	2,700

4 . 活力にみちたむらづくり

(1) 共生・協働のむらづくり

平成18年度まで展開してきた「新・農村振興運動」を再構築し、平成19年度から、NPO法人や都市住民などの地域外の活力導入，都市部からの定住促進，農林水産業以外も含めた新たな産業興しを推進する観点から，「共生・協働の農村づくり運動」を推進している。

中山間地域等直接支払交付金制度については，中種子町の4集落で協定を締結し，協定に基づく農用地の保全管理等の共同作業が行われている。

また，多面的機能支払交付金を活用した水土里サークル活動については，4市町87組織が取り組んでおり，約4,245haの農地で保全管理等の共同作業が行われている。

● むらづくり活動の情報発信

区 分	掲載地区
南日本新聞「むらおこし便り」 (平成30年9月23日掲載)	南種子町荃永地区

● 管内のむらづくり活動の事例

地区名	活動内容
中種子町 増田地区	<p>2013年に結成された「牛之原桜同士の会」が中心となり，地域活性化に向けた取組を行っている。</p> <p>【火縄銃保存会の立ち上げ】 「牛之原桜同士の会」が中心となって保存会の立ち上げを呼びかけ，2014年に「中種子火縄銃保存会種子島鉄砲隊」が結成された。保存会は，中種子町で最大級の夏祭りである「よいら～いき祭り」をはじめ，様々なイベント・祭りに参加して地域を盛り上げている。</p> <p>【「今姫神社むじよかひな祭り」の開催】 地区内にある今姫神社では，ひな祭りの時期に，集落内外から寄贈された約400体のひな人形を境内に続く42段の石段に飾る，「今姫神社むじよかひな祭り」を2016年から開催している。祭り当日は，3,000人を超える見物客が訪れ，集落の垣根を越えた人々のふれあいの場となっている。</p> <p>【伝統芸能の復活】 かつては，収穫を祝う踊り「ヤートセー」が地区内の神社で奉納されていたが，1979年以降，担い手減少のため，姿を消していた。そこで「牛之原桜同士の会」が集落出身者に声をかけ，2018年にこの伝統芸能を復活させた。</p>

(2) 中山間地域等直接支払交付金制度

(平成31年3月末現在)

市 町 名	協 定 数	協定農用地面積(m ²)
中 種 子 町	4	92,895
熊 毛 計	4	92,895

(3) 多面的機能支払交付金(水土里サークル活動)

ア 農地維持支払交付金

地域住民の多くの参画を得て実施する地域ぐるみの保全管理活動を支援

【平成30年度 農地維持支払交付金実績】 (平成31年3月末現在)

市町名	区分	地区数	対象農用地 (ha)				交付額 (千円)
			水田	畑	草地	計	
西之表市		35	140.6	1,159.5	0.0	1,300.1	27,408
中種子町		25	191.6	1,556.9	51.0	1,799.4	37,011
南種子町		14	119.9	508.8	12.2	640.9	13,804
屋久島町		13	39.0	465.5	0.0	504.5	10,480
熊毛計		87	491.1	3,690.7	63.2	4,244.9	88,703

イ 資源向上支払交付金

農業用排水路や農道等の長寿命化を図るための補修等の取り組みを支援

【平成30年度 資源向上支払交付金(共同活動)実績】 (平成31年3月末現在)

市町名	区分	地区数	対象農用地 (ha)				交付額 (千円)
			水田	畑	草地	計	
西之表市		33	132.6	1,058.8	0.0	1,191.4	15,493
中種子町		21	163.9	1,147.5	36.6	1,347.9	18,958
南種子町		14	99.7	389.4	10.2	499.3	6,452
屋久島町		13	39.0	465.5	0.0	504.5	6,052
熊毛計		81	435.2	3,061.2	46.8	3,543.1	46,955

【平成30年度 資源向上支払交付金(長寿命化)実績】 (平成31年3月末現在)

市町名	区分	地区数	対象農用地 (ha)				交付額 (千円)
			水田	畑	草地	計	
西之表市		3	10.5	122.1	0.0	132.6	2,242
中種子町		1	21.1	84.5	0.0	105.6	2,021
南種子町		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
屋久島町		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
熊毛計		4	31.6	206.6	0.0	238.2	4,263